



茨城県

## 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成27年9月調査分)

### 《景気の現状判断DI》

	平成27年6月	平成27年9月	前回調査比
茨城県	49.4	<b>46.8</b>	△2.6
県北地域	43.9	<b>42.0</b>	△1.9
県央地域	52.1	<b>51.4</b>	△0.7
鹿行地域	50.4	<b>48.6</b>	△1.8
県南地域	54.5	<b>45.8</b>	△8.7
県西地域	46.1	<b>46.4</b>	+0.3

### 《景気の先行き判断DI》

	平成27年6月	平成27年9月	前回調査比
茨城県	52.4	<b>48.2</b>	△4.2
県北地域	49.1	<b>46.9</b>	△2.2
県央地域	54.6	<b>50.5</b>	△4.1
鹿行地域	53.9	<b>48.6</b>	△5.3
県南地域	53.6	<b>48.1</b>	△5.5
県西地域	50.9	<b>46.9</b>	△4.0

平成27年10月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

※平成27年9月1日現在

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	267 人	89.0%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	55 人	91.7%
鹿行地域	60 人	55 人	91.7%
県南地域	60 人	53 人	88.3%
県西地域	60 人	48 人	80.0%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

## 5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成27年9月調査の調査期間は、平成27年9月1日から平成27年9月30日である。

## 6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$  となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

## II 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは46.8となった。平成27年6月の調査（以下、「前回調査」という。）から2.6ポイント低下し、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

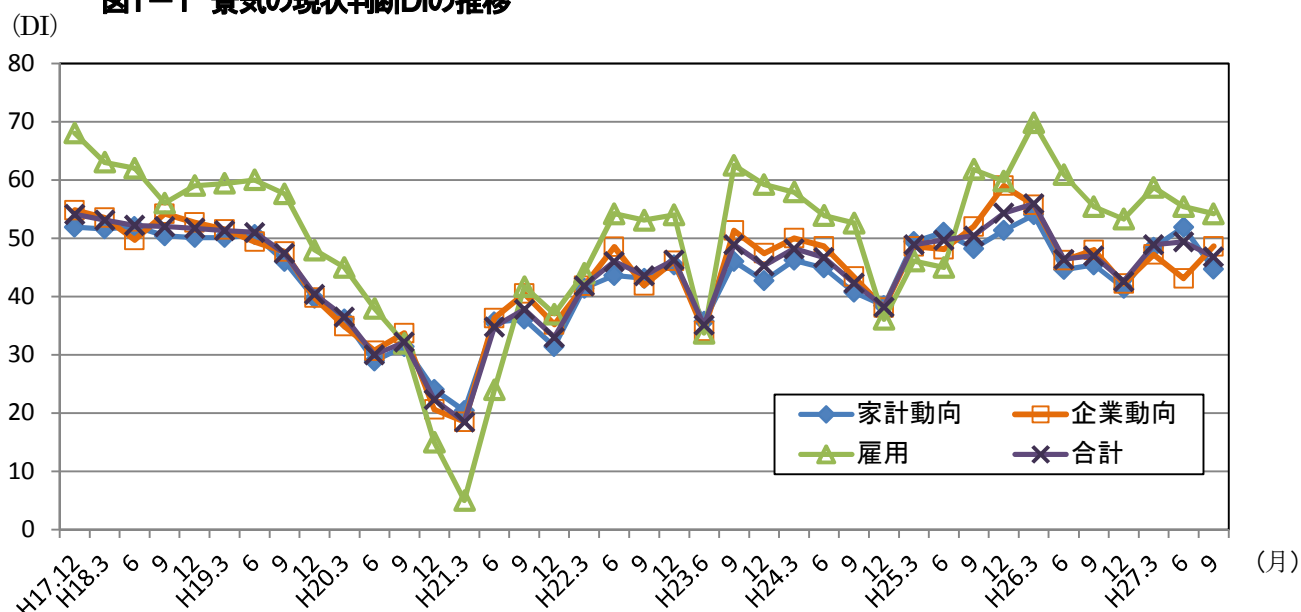
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成26年 9月	平成26年 12月	平成27年 3月	平成27年 6月	平成27年 9月
<b>合計</b>	<b>47.0</b>	<b>42.6</b>	<b>48.9</b>	<b>49.4</b>	<b>46.8</b>
<b>家計動向関連</b>	<b>45.4</b>	<b>41.4</b>	<b>48.4</b>	<b>51.9</b>	<b>44.7</b>
小売関連	46.3	41.5	50.4	52.2	49.1
飲食関連	38.1	39.8	48.9	50.0	38.5
サービス関連	45.1	41.8	46.3	52.4	42.4
住宅関連	59.4	41.7	50.0	50.0	53.1
<b>企業動向関連</b>	<b>48.0</b>	<b>42.2</b>	<b>47.2</b>	<b>43.1</b>	<b>48.6</b>
農林水産業	42.9	25.0	43.8	40.6	46.9
製造業	45.7	39.4	43.5	42.6	46.1
非製造業	52.1	50.0	52.9	44.3	52.1
<b>雇用関連</b>	<b>55.4</b>	<b>53.3</b>	<b>58.7</b>	<b>55.4</b>	<b>54.2</b>

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 9月	2.5%	18.3%	50.4%	22.5%	6.3%
平成26年12月	1.4%	14.2%	48.3%	25.7%	10.4%
平成27年 3月	2.1%	22.4%	50.0%	19.9%	5.6%
平成27年 6月	1.7%	23.0%	51.2%	19.2%	4.9%
平成27年 9月	1.5%	18.7%	52.1%	21.0%	6.7%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは48.2となった。前回調査より4.2ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

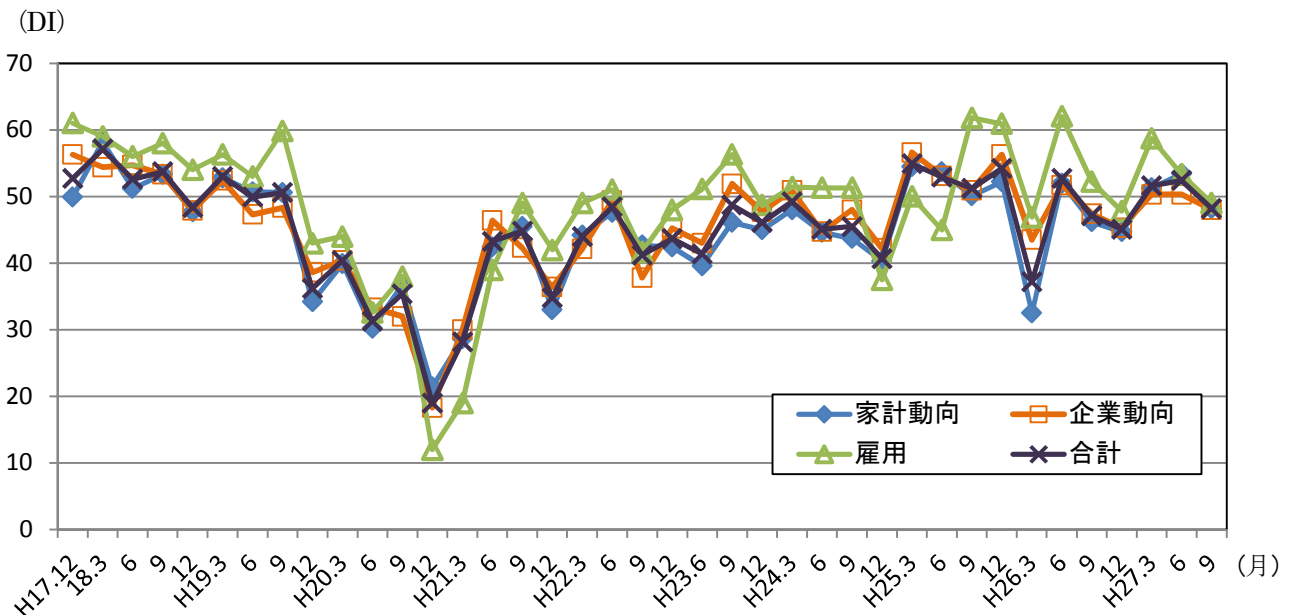
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
<b>合計</b>		<b>47.1</b>	<b>45.1</b>	<b>51.6</b>	<b>52.4</b>	<b>48.2</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>46.2</b>	<b>44.7</b>	<b>51.3</b>	<b>53.4</b>	<b>48.2</b>
小売関連		50.7	44.9	54.2	53.7	47.2
飲食関連		44.0	46.6	50.0	52.1	44.8
サービス関連		42.2	44.7	49.7	54.1	51.1
住宅関連		53.1	38.9	42.9	50.0	40.6
<b>企業動向関連</b>		<b>47.4</b>	<b>45.3</b>	<b>50.3</b>	<b>50.3</b>	<b>48.0</b>
農林水産業		39.3	31.3	46.9	43.8	50.0
製造業		46.7	45.2	52.2	52.1	45.0
非製造業		50.0	48.6	48.6	49.3	51.4
<b>雇用関連</b>		<b>52.2</b>	<b>47.8</b>	<b>58.7</b>	<b>53.3</b>	<b>49.0</b>

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 9月	1.8%	15.8%	56.0%	21.8%	4.6%
平成26年12月	1.4%	13.9%	55.2%	22.9%	6.6%
平成27年 3月	1.0%	27.6%	51.7%	15.7%	3.8%
平成27年 6月	2.4%	24.0%	56.8%	14.3%	2.4%
平成27年 9月	0.7%	19.9%	55.1%	20.2%	4.1%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは42.0となった。前回調査より1.9ポイント低下し、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		45.0	46.1	43.6	43.9	42.0
家計動向関連		44.5	46.3	43.1	46.4	39.4
企業動向関連		44.7	46.1	43.4	38.9	43.4
雇用関連		50.0	43.8	50.0	43.8	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	0.0%	14.5%	60.0%	16.4%	9.1%
平成26年12月	5.3%	19.3%	43.9%	17.5%	14.0%
平成27年 3月	1.7%	10.2%	59.3%	18.6%	10.2%
平成27年 6月	1.8%	14.0%	49.1%	28.1%	7.0%
平成27年 9月	1.8%	17.9%	41.1%	25.0%	14.3%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは51.4となった。前回調査より0.7ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		46.2	41.1	50.0	52.1	51.4
家計動向関連		43.4	40.1	48.6	55.8	47.1
企業動向関連		46.9	35.9	46.7	40.6	56.7
雇用関連		65.0	65.0	70.0	60.0	65.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	3.4%	18.6%	44.1%	27.1%	6.8%
平成26年12月	0.0%	15.3%	45.8%	27.1%	11.9%
平成27年 3月	1.8%	25.0%	50.0%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	1.7%	28.3%	51.7%	13.3%	5.0%
平成27年 9月	3.6%	25.5%	47.3%	20.0%	3.6%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは48.6となった。前回調査より1.8ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.4	44.1	50.9	50.4	48.6
	家計動向関連	45.7	41.4	52.3	54.4	46.8
	企業動向関連	54.2	44.7	43.4	42.1	51.3
	雇用関連	70.0	60.0	70.0	55.0	50.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	1.7%	20.7%	56.9%	19.0%	1.7%
平成26年12月	0.0%	15.3%	50.8%	28.8%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	29.8%	45.6%	22.8%	1.8%
平成27年 6月	1.7%	22.4%	53.4%	20.7%	1.7%
平成27年 9月	0.0%	14.5%	67.3%	16.4%	1.8%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは45.8となった。前回調査より8.7ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.4	43.6	50.9	54.5	45.8
	家計動向関連	50.8	41.7	51.5	57.8	44.8
	企業動向関連	51.5	45.8	51.4	50.0	44.7
	雇用関連	56.3	50.0	43.8	50.0	55.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	7.5%	24.5%	39.6%	22.6%	5.7%
平成26年12月	1.8%	10.9%	54.5%	25.5%	7.3%
平成27年 3月	5.5%	21.8%	47.3%	21.8%	3.6%
平成27年 6月	1.8%	25.5%	61.8%	10.9%	0.0%
平成27年 9月	1.9%	13.2%	54.7%	26.4%	3.8%



⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは46.4となった。前回調査より0.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

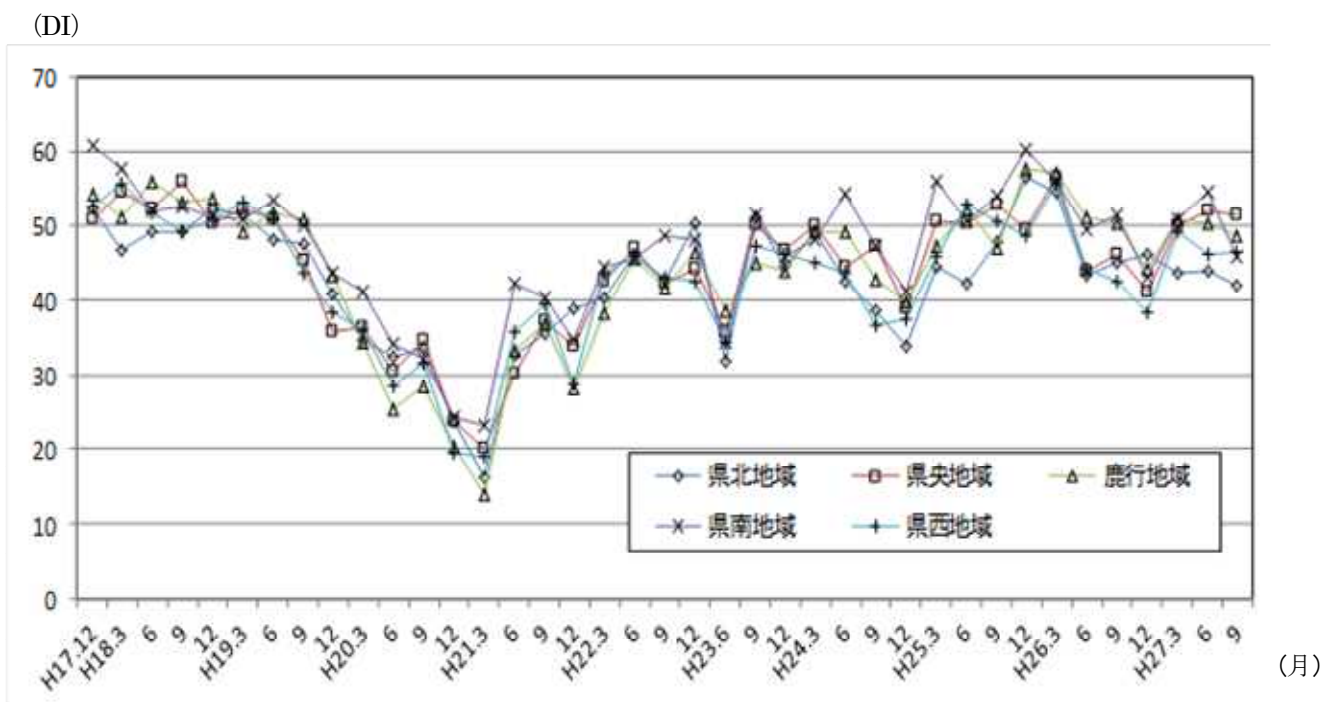
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.4	38.4	49.2	46.1	46.4
家計動向関連		43.1	37.9	47.2	44.9	45.4
企業動向関連		43.1	37.5	51.4	43.4	48.4
雇用関連		35.0	45.0	55.0	68.8	45.0

表2-10 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成26年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	27.1%	8.5%
平成26年12月	0.0%	10.3%	46.6%	29.3%	13.8%
平成27年 3月	1.7%	25.4%	47.5%	18.6%	6.8%
平成27年 6月	1.8%	24.6%	40.4%	22.8%	10.5%
平成27年 9月	0.0%	22.9%	50.0%	16.7%	10.4%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.9となった。前回調査より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		45.0	42.1	51.7	49.1	46.9
家計動向関連		45.3	39.7	51.4	48.6	47.7
企業動向関連		43.4	46.1	51.3	50.0	46.1
雇用関連		50.0	43.8	56.3	50.0	43.8

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	1.8%	10.9%	61.8%	16.4%	9.1%
平成26年12月	1.8%	8.8%	57.9%	19.3%	12.3%
平成27年 3月	0.0%	30.5%	52.5%	10.2%	6.8%
平成27年 6月	0.0%	14.0%	71.9%	10.5%	3.5%
平成27年 9月	0.0%	17.9%	55.4%	23.2%	3.6%

### ② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは50.5となった。前回調査より4.1ポイント低下したものの、横ばいを表す50を2期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		47.0	46.2	49.6	54.6	50.5
家計動向関連		45.4	45.4	50.0	58.3	51.4
企業動向関連		48.4	45.3	43.3	46.9	46.7
雇用関連		55.0	55.0	65.0	50.0	55.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	3.4%	11.9%	57.6%	23.7%	3.4%
平成26年12月	0.0%	13.6%	62.7%	18.6%	5.1%
平成27年 3月	3.6%	19.6%	53.6%	17.9%	5.4%
平成27年 6月	5.0%	26.7%	53.3%	11.7%	3.3%
平成27年 9月	0.0%	27.3%	50.9%	18.2%	3.6%

### ③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.6となった。前回調査より5.3ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		51.3	46.6	50.9	53.9	48.6
	家計動向関連	50.0	45.7	50.8	55.9	47.6
	企業動向関連	52.8	46.1	50.0	51.3	50.0
	雇用関連	55.0	55.0	55.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	0.0%	25.9%	53.4%	20.7%	0.0%
平成26年12月	0.0%	16.9%	57.6%	20.3%	5.1%
平成27年 3月	0.0%	24.6%	56.1%	17.5%	1.8%
平成27年 6月	3.4%	22.4%	60.3%	13.8%	0.0%
平成27年 9月	1.8%	12.7%	67.3%	14.5%	3.6%

### ④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは48.1となった。前回調査より5.5ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		50.0	48.2	52.7	53.6	48.1
	家計動向関連	48.4	50.0	53.0	53.9	47.4
	企業動向関連	50.0	45.8	51.4	51.4	47.4
	雇用関連	62.5	43.8	56.3	60.0	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	3.8%	18.9%	52.8%	22.6%	1.9%
平成26年12月	3.6%	18.2%	47.3%	29.1%	1.8%
平成27年 3月	1.8%	27.3%	52.7%	16.4%	1.8%
平成27年 6月	1.8%	29.1%	50.9%	18.2%	0.0%
平成27年 9月	0.0%	17.0%	60.4%	20.8%	1.9%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.9となった。前回調査より4.0ポイント低下し、横ばいを表す50を3期ぶりに下回った。

表2-19 景気の先行き判断DI

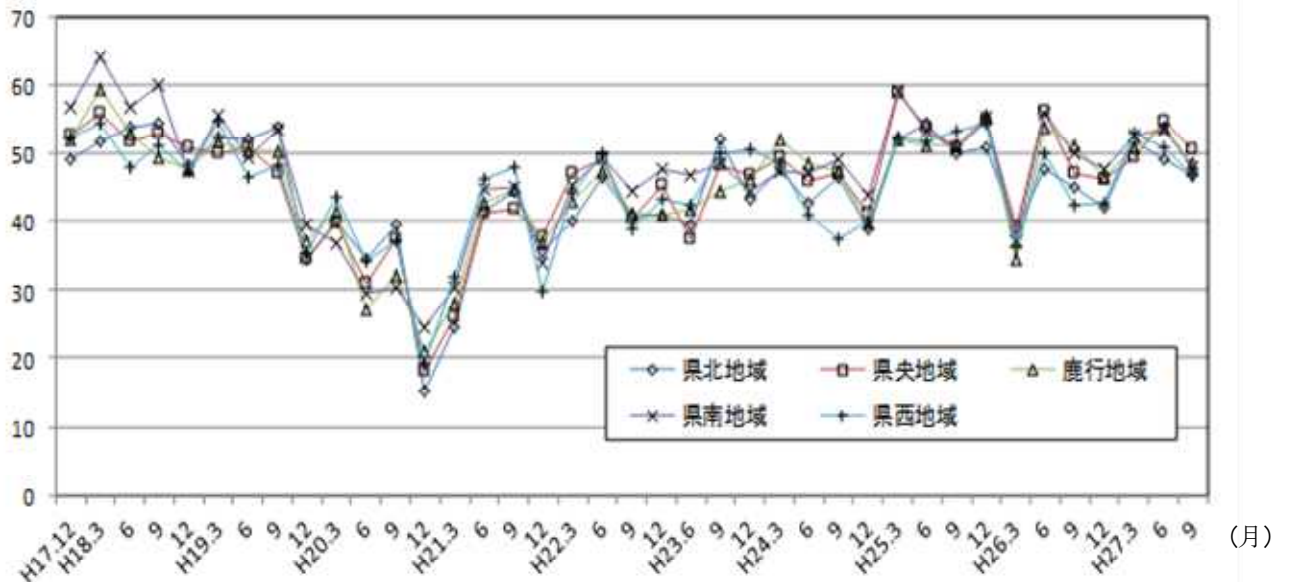
分野	調査月	平成26年	平成26年	平成27年	平成27年	平成27年
		9月	12月	3月	6月	9月
合計		42.4	42.7	53.0	50.9	46.9
家計動向関連		42.4	42.9	51.4	50.0	46.3
企業動向関連		43.1	43.1	54.2	51.3	50.0
雇用関連		40.0	40.0	60.0	56.3	40.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成26年 9月	0.0%	11.9%	54.2%	25.4%	8.5%
平成26年12月	1.7%	12.1%	50.0%	27.6%	8.6%
平成27年 3月	0.0%	35.6%	44.1%	16.9%	3.4%
平成27年 6月	1.8%	28.1%	47.4%	17.5%	5.3%
平成27年 9月	2.1%	25.0%	39.6%	25.0%	8.3%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移

(DI)



Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 東北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊予約が好調で売上げも伸びている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	3か月前は、地域で実施されるプレミアム商品券への期待感から、買い控えが起きていたのではないかと推測します。
		スーパー	煮魚、弁当、惣菜などの値段が少し高くても、おいしければ売れが良い。
		スナック	海外旅行に行く人が増えている。
		食堂	個人経営では大変です。チェーン店、コンビニには勝てません。埼玉県から同業者が時々来てくれて、今時この値段で営業大変でしょう、と値上げを勧められます。昔の客に会いたいし、昔はたくさん助けてもらったので出来ない。
		住宅販売会社	これまでどん底のような状況だったので、少なからず光が見えてきた。
	企業	製造業（電気機械器具）	公共物件対応のため、下期に集中しやすい（年度内完成）。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と比較して、売上げがやや増加している。
		運輸附帯サービス業	輸出案件が定量的に発注されるようになった。
	求人	求人広告	ここまですべて非常に悪く、その状況からは若干上向いている感がある。
	変わらない	家計	スーパー
自動車販売店			前年同時期と比べても、売上げはほぼ同じである。
農産物直売所			客単価があまり変わらない。おみやげが伸びない。
小売業（水産物）			店舗の売上げが伸びない。
小売業（時計）			期待を込めてでも、あまり良くはならないと思う。
旅行代理店			貸切バス新運賃へ移行後、運賃アップにより対前年並みの売上げは確保できているものの、貸切バス稼働は対前年90%前後と前年を割っている。受注が減少している状況は変わっていない。
タクシー運転手			仕事の量も横ばい状態。
タクシー運転手			担当地区で売上げに大きく影響する大企業グループ慣例の、8月にある夏休み期間が例年より長めで、各グループ企業ごとに多少ずれているので、タクシー側からすると、売上げ減少期間が長引いた。そして、いつもそだが長期休暇後は（理由ははっきりしないがだれてしまうのか）売上げが芳しくなく、それから立ち直るまでに普通よりさらに日にちを費やした。
レジャー施設			特に目立ったプラス・マイナス要因が見られない。
ゴルフ場			天候の要因を除いては、特に状況の変化は見られない。
企業		林業関係者	変わらずの材価の低迷。住宅着工が見受けられない。
		製造業（電気機械器具）	作業従事時間の変動がなく、平均的であった。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と同様に忙しい状況が続いている。
		製造業（電気機械器具）	8月は非常に悪かったが、9月で持ち直した。9月、10月は横ばい。
		製造業（輸送用機械器具）	国内のカーメーカー各社は、安全及び低燃費をテーマとした新車を市場投入し、購買意欲を増やそうという戦略を展開しているが、依然として低調な数量に止まっている。一方、海外は北米市場は好調であるが、中国市場で苦戦を強いられている状況に大きな変化がなく、依然として作業量の拡大に結びついていない。
		建設業	公共工事は震災復興関連工事が多数あり、景気の支えとなっていると思うが、民間は横ばいなので、全体としてはあまり変わっていない。
		運輸業	荷動きは4月からほとんど変わらない。
		金融業	地元大手企業の下請業者への受注は依然として低調であり、先行き不透明な状況が続く。下請企業は大型設備投資等もなく、居住用不動産の動きも鈍い。
		情報通信業（情報サービス業）	商談は増えてきているように感じられるが、競争が厳しく利益に結びつかない。
		雇用	公共職業安定所
学校就業関係者	特に変化を感じられない。		
求人開拓員	大手製造（家電製品）での求人が増加しているが、派遣での製造スタッフ募集で対応しているため、一時的な現象である。		
やや悪くなっている	家計	スーパー	客単価が減少傾向。不要な物の出費を抑えていると考えている。
		衣料品販売店	来客数が減少している。
		小売業（酒類）	大変厳しい状況です。良くなる要素がまったく今のところ見えません。贈答用品など、例年になく販売不振でした。
		レストラン	客足が悪いので、やや悪くなっていると思う。財布の紐が固いかなど。
		居酒屋	来店客が少ない。
		観光型ホテル	夏休み・お盆などの休みで出費がかさみ、今は控えているのだと思う。
		ドライブイン	天候に左右されるが、おおむね昨年対比をやや下回った。3か月前よりは買い控えている様子。
		ゴルフ場	昨年度対比で個人事業者の方の来場が減少した。また、重機・建設関係会社の方から、昨年より仕事が減ったという話を聞いた。
		ゴルフ場	9月の出足予約状況前年比-4ポイントで来場の流れが悪くなっている。お彼岸の週の予約状況は前年比65%ペースで悪くなっている。千葉県内の業界が集客に勢いがあるとの情報が一因となっている。
		ボウリング場	（大企業の）残業は変わらずあるようですが、個人の金額が増えない（売上げ）。

やや悪い	企業	水産業関係者	天候不良による農作物高騰などの雰囲気がある。
		製造業（電気機械器具）	H27.4月以降、作業量が減少し、そのまま横ばいで推移している。増加の見込みがない状況である。
		製造業（一般機械器具）	受注減による経費削減がより叫ばれている。
		不動産業	集客、売上げとも増加傾向にない。むしろ苦戦している。
悪くなっている	家計	商店街代表者	例年に比べて資材の動きが悪い。
		中国料理店	9月はシルバーウィークがあり、活気付いたが、その時以外は客数が減っている。
		観光型ホテル	8月下旬からの動向が継続的に芳しくない。
		タクシー運転手	お客様の利用が減っている。
		クリーニング店	客数、客単価ともに減少している。
	企業	製造業（電気機械器具）	主力であった中国向け案件が全くなり、更に国内向け案件の伸びも乏しい。
		製造業（精密機器）	全体的に生産が2割くらい減っている。周りも減っていると情報がある。景気はやはり悪くなっていると思う。開発品も少なく、今後の量産も少なくなってくると思う。先行きに不安がある。

## (2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	割烹料理店	この時期は稲刈りということもあり、田畑に囲まれたうちの店は農家のお客が多いため、食事に来られるお客が増えています。
	企業	農業関係者	秋の収穫期となり、農産物の販売代金等の収入が入る。
やや良くなっている	家計	スーパー	お客様の買上げ点数は昨年と同じですが、8月度はお盆もあり客単価が前年比10%と上昇しました。
		スーパー	プレミアム付商品券の発売、それに合わせた販売促進、猛暑日などの複数要因がうまく重なって売上げは多少増えた。
		都市型ホテル	訪日外国人の増加。
		タクシー会社	おおまかな計算であるが、乗務員全体の平均売上げが約2%伸びている。対象期間内にゴールデンウィークがあるので単純比較はできないが、同じ期間の前年対比よりも売上げの伸び率が2%以上増加しているため、やや向上傾向と判断される。
		タクシー会社	売上げ・稼働ともに向上しており、乗車数も多少増加している。
		スーパー銭湯	暑い日が早い時期に到来したため、クールシェアを求めて7月～8月は例年より好況であった。8月後半からの気温の低下がなければ、さらに良い状況になったと思われる。宿泊施設で県外のお客の増加がみられたのは、プレミアム商品券及び箱根地区を敬遠したお客様の増加とみている。好感度は感じられるが、時期的な要因と判断して、やや良くなっていると記入しました。
	企業	製造業(金属製品)	自社はフル稼働状態。アウトソースを最大限活用して、何とか生産をこなしている状況です。
		製造業(一般機械器具)	ほとんど変わらないが、やや良くなっている感じがする。
		製造業(精密機械器具)	<b>大物製品の引き合いがやや増加傾向にあります。</b>
		不動産業	<b>9月は3か月前の移動のない時期に比べて、転勤や新居探しが多いため、来客数も多く、売上げが増加した。</b>
		サービス業(広告業)	ゴールデンウィーク明けは極端に広告出稿数が減った。住宅・自動車・ホテル関係の売上げが厳しかったようで、折込チラシなどの販促を控えていた影響。
	雇用	求人広告	人材募集が増えている。
		公共職業安定所	平成27年6月の有効求人倍率が1.15倍から1.31倍と上昇している。
		求人開拓員	正規社員の採用が増えていまして、生活基盤が多少安定しているように思います。また、Job Cafe 求人とオンライン求人もあり、求人募集は増加傾向ですが、求人内容にあった求職者は減少傾向にあります。企業の選り好みもあり、マッチングがあまり進まないのが現状です。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			個人の印鑑の購入は良くなっている。順調にお客さんも来ているが、民間会社、企業からの受注がほとんどなく、厳しい状況が続いているので、差引きとプラスマイナスゼロです。
百貨店、総合スーパー			良い商品、気に入った商品について、価格を気にせず購入されるお客様もいらっしゃいますが、まずよく考えてから購入するお客様がほとんど。この様子は変わらず続いている。
スーパー			節約志向の強いまま経過していると思います。価格の値上げによる単価UPはしている。値上げが一部浸透してきているとは思われる。
家電販売店			物が売れない。
農産物直売所			猛暑、長雨等ありながらだが、前年並の売上げで推移している。若干の伸びはあるが、プレミアム周遊券、さらに商品券の影響があると思われる。
楽器販売			消費税増税から一年が経過し、その余波は幾分緩和されてきた印象を受ける。しかし、期待のプレミアム商品券に思ったほどの伸びは感じられない。本当に景気対策の一助になっているのだろうか。
レストラン			大きな変化はないが、利用人数は若干伸びているのに対し、客単価が若干下がっている。
レストラン			この時期になり、申込み状況や宴会の人数・単価もほぼ変動なく横ばいである。
観光型ホテル			例年通りの集客ができています。
旅行代理店			残念ながら、3か月前と比較して仕事の発注、受注に変化がない。
旅行会社			5月、6月は観光シーズンということもあり、いくらか仕事は多かったが、8月、9月はお客様の旅行は減っているように思います。
ドライブイン			団体のお客様が急に増える要因がない。
観光名所			夏休みシーズンで多くのお客様が来館したが、それは毎年のことである。6月に関しても同様で、梅雨のシーズンはオフシーズンになっているので、景気に関しては変動はないと考える。
レジャー施設			新規の契約申込みも、契約の解除もない。
理・美容店	売上げで見ると、来客数も売上げもほぼ同じである。		
住宅販売会社	変化が見受けられない。		
企業	製造業(印刷・同関連業)	売上げが増加せず、3か月前と状況が変わらない。	
	製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。	
	製造業(窯業・土石製品)	悪いまま変化なし。	
	建設業	顧客動向に慎重さが見える。	
	金融業	業種により差はあるものの、全体的には売上高、収益面において横ばいに推移している状況。依然として目立った設備投資等の計画もなく、景気に大きな変化はないと思われる。	
	情報通信業(情報サービス業)	商談機会はあるが、価格の低下傾向は止まらず、利ざや確保の厳しさは変わりなし。顧客訪問時間において、首都圏と地元市場の景況感格差が思った以上に大きいと感じるのは、3か月前と変わらず。	
	サービス業(コンサルティング業)	3か月前と比較して、仕事量や注文数の増減があまり感じられない。	

変わらない	雇用	人材派遣業	売上げはほぼ横ばいが続いている。
		学校就業関係者	新聞等の報道のとおり、企業の新卒採用求人は増えており、就職活動も順調に進んでいると思います。しかし、特段、昨年度のこの時期の状況と比べると景気の状況は変わっていないと思われる。
やや悪くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	9月中旬の途中状況であるが、3か月前の状況と比べると、今月の前年比の伸び率がやや悪くなっている。
		スーパー	<b>お客様の買上げ点数、金額が下がっているようだ。また、高いお酒やワインの売上げが芳しくない。</b>
		スーパー	中国経済の不透明さの影響か、8月から減速傾向にある。
		自動車販売店	茨城県内、TX沿いの地域の自動車新車市場は伸びているが、水戸以北は前年を割っている地域が増えてきた。特に、水戸でも赤塚地区が落ち込んでいる。
		レストラン	一人あたりの利用金額が減少している（客単価の減少）。
		タクシー運転手	お客様がタクシーに乗るなり、「あれ！この居酒屋さんやめたの」とか、「ここのスナック、いつ潰れるかと思ったけどやっぱりダメか」とか。千波地区だけでも2軒飲み屋さんが廃業しています。
		タクシー運転手	今月はシルバーウィークがあり、また、秋の行楽シーズンの時期でもあることから、やや乗客数が減る傾向にある。3か月前と比べて売上げが減少したので、景気はやや悪くなっている。
		レジャー施設	県をはじめ各自治体より、地域振興と消費喚起を目的にプレミアム周遊券が発行されているが、夏季多客期間においてもエリア周遊客や施設利用者は、前年比マイナスであった。周遊券がなかったならば、更なる消費の落ち込みが予想された。
		ゴルフ場	毎年のことながら涼しい大洗と言われてきたが、大洗でも暑さが厳しかった。
		建築設計事務所	新築物件が減少傾向であり、改修や模様替え物件が多くなってきている。
企業	運輸業（道路貨物運送業）	貨物の動きが低調で前年比を下回っている。	
悪	家計	都市型ホテル	現在の予約状況等が例年になく下がっている。後半の連休で若干の伸びを期待しているが、全体では悪くなっていると思う。
	企業	製造業（食料品）	天候のせいもあると思うが、とにかく物が売れない。



## (3) 鹿行地域 【現状】

(ー：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	家電販売店	暑い夏で季節商品の動きが良く、後半の雨でも、TVに販売がシフト出来た。
		洋食食堂	前年売上げをクリアしている。プレミアム商品券の利用が多い。(当初からで700枚くらい)
		観光型ホテル	客単価が少し上がった。
		理・美容店	地域振興のクーポン券による景気上向きがやや感じられました。
企業	製造業（食料品）	発注量が増えている。	
	製造業（食料品）	<b>当市では、7月にプレミアム商品券を発売。購入額が増加した。</b>	
	製造業（食料品）	今回は3か月前が悪すぎて通常に戻っただけ。	
	サービス業	試験分析業務についての引き合い、受注、売上げいずれも底堅く推移し、金額が伸びている。自動車分野からの依頼が昨年度下期より低迷していたが、年度明けから徐々に回復傾向が認められる。	
変わらない	家計	商店街代表者	<b>天候不順の影響を受け、食品関連の価格高騰もあり、全体の消費を引き下げているように思われる。</b>
		スーパー	売上げは良くなっているが、中身が悪い。野菜が高いため売上げが良くなっているのが、全体としては変わりません。天気が良くない日が多く、飲料、酒などは少し売上げが悪くなっている。
		スーパー	衣料の販売状況が前年をクリア出来ていない状況。食料品も前年をクリア出来ていない。単価も同じくらい伸びていない。
		衣料品販売店	昨年の客数に対して下回っている。
		農産物直売所	3か月前だと、当直売所の一番の最盛期であるため、景気の判断をするのは大変難しく思います。
		小売業（菓子類）	3か月前も今月も対前年比の売上げが同じである。
		小売業（食品）	7月～8月の売上げは昨年並みで良かった。お盆前の天候が良かったので、人の動きがあった。
		精肉店	材料の仕入単価が高いため、利益率が上がらない。今年は、現在まで肉の相場がいざんと下がらないのも原因の一つだと思う。
		小売業（書店）	月によって上下しておりますので、3か月前の平均をとると変化はありません。連休などは天候が良かったため、お店の売上げはダウン。
		和食レストラン	売上高から判断。
		観光型ホテル	今月の予約状況を見ると、例年の今頃と同じくらいである。
		タクシー運転手	<b>当地域の企業集団の全体的な上昇機運が感じられない。</b>
		タクシー運転手	相変わらず売上げが伸びない。
		タクシー運転手	地方創生の効果等、期待していたほど成果はあまり感じられませんでした。プレミアム周遊券の利用者は3か月の間に1回だけの利用でした。
		ドライブイン	物産品などおみやげ品の売上げがほぼ横ばい。
		ゴルフ場	特に目立った変化を感じない。
		理・美容店	客単価そのものがあまり変わらない。
		住宅販売会社	景気が回復し始めた感はあるが、まだ安定した調子には至っていない。
		住宅販売会社	売行きに変化がない。
企業	農業関係者	賃金の増加が末端の中小企業には届いていない状況のため、消費者の購買意欲が高まっていない。	
	製造業（食料品）	今年の夏季は、8月前半だけ暑さが続きましたが、その後は比較的涼しく、暑さで売上げが落ち込んだとは感じなかった。前年度と変わらず推移した。お盆を過ぎてからも涼しく、毎年暑さで売上げが減少しますがそれはなかった。仕事の忙しさも感じず、売上げの増減もあまり感じなかった。しかし、厳しい景気が良くなったとも感じず、各地の災害ばかりが気になった。	
	製造業（食料品）	春先からの末端製品価格UPによる販売数量低迷状態が続いている。	
	建設業	景気の上昇と言われておりますが、良くなっている感じはしません。	
	建設業	新築の場合、着工戸数が少ない。	
	運輸業（道路貨物運送業）	全体として荷動きは良くない。入庫・出庫共に大きな変化は見られず、保管残高が積み上がっている状態である。低迷している、と感じている。	
	金融業	業種によっても様々だが、全体的に設備資金及び運転資金の資金需要は依然として慎重であり、3か月前と比較しても景気は変わらないと思われる。	
	保険業	変化が見えない。	
	不動産業	良くなる要素がありません。景気が良くなっている感じはしません。	
	内装工事業	今回プレミアム付き商品券を多くの方が購入しましたが、使い道はやはり大型店に集中しているようで、今回の企画は思ったより小売店の売上げに貢献していないような気がします。	
火力発電所	肌で感じるほどの変化が感じられない。		

変わらない	雇用	人材派遣業	コンビナートは全般的に操業度が比較的高水準であるが、業績的には必ずしも連動していない様子です。依然として物価が低位に推移していることもその要因であるかと思えます。ガソリンが低位であるだけに、連休を利用した車利用のレジャーも多く見られると思われます。
		民間職業紹介業	<b>求人企業はだいたい増加傾向にありますが、相変わらず求職者が少なく、マッチングが難しい状況です。</b>
		公共職業安定所	有効求人数は増加し、有効求職者数は減少している状況に大きな変化はない。
		学校就職関係者	新卒求人が始まり、出だしが好調である。求職者の離職者訓練においても、応募者数が減っている。職安窓口も求職者が少ないようである。4月以降同じ状況であり、変化はないと感じる。
		求人開拓員	求人はある程度安定供給されているようであるが、就職になかなか結びつかない人も見受けられる。個人的な要因によるのかもしれないが、景気がよければ未就業者も大幅に減ると思われる。
やや悪くなっている	家計	農産物直売所	当店は、ロードサイドにお店を構えていますが、まず、お店の前の通行量が減った。これは私だけの感覚でなく、取引している業者様、農家の方も同じような見方をしている。他店と価格を比較して、さらに買うと決めたものしか買わないお客様がより増えた。入店したお客様の中で、お買い上げにならない方（見るだけの方）が、やはり増えた。
		小売業（薬品店）	猛暑が続いたり、急に気温が下がり雨が続きたりと、客足が伸びない。特に購買力のある高い年代に顕著な気がする。
		割烹料理店	接待の会食が減って、6月からの3か月、売上げが過去最低の売上げだった。コンプライアンスなどの要因ではないかと思われる。
		日本料理店	<b>接待での単価が落ち、注文する時にお金を気にする人が多くなった。はじめから予算が決まっていることが多い。</b>
		クリーニング店	農業の方は、天候が悪かったので作物に影響が出ている。不作である。
	企業	製造業（電気機械器具）	8月より売上げ・利益がやや落ちている。
		製造業（鉄鋼業）	大きくは変わらないが、少しずつ悪い状況に向かっている気がする。
製造業（金属製品）		増税後、負担率が増えているため、消費者ニーズの変化がある。	
悪	企業	海鮮料理店	お客様の年齢を問わず、外食だけでなく、団体様の料金設定の意識が変わっています。

## (4) 県南地域 【現状】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	スーパー	売上げは順調に伸びている。前年度対比と比べても、前年度の売上げより上昇している。プレミアム商品券も好調の要因。	
やや良くなっている	家計	農産物直売所	私どもの直売所は6店舗あり、5店舗が前年対比（8月31日現在）を上回っていた。猛暑で野菜が高騰して、単価も高いせいかもしれませんが、お客様も入っています。野菜が高くても買っていく。	
		都市型ホテル	以前と比べると、宴会の予約等が少しずつ増えてきている。やや良くなってきているように思われる。	
		タクシー運転手	朝の予約の件数が多くなり、ホテル、病院からの依頼も多くなった。	
	企業	製造業（非鉄金属）	自動車業界は需要が順調に継続しており、堅調に推移している。	
		建設業	来月は土浦花火大会があり、関連工事を毎年受注しているため、他工事の受注を控えているのは毎年のことである。しかし、今年は受注が昨年より多く、工事の段取り・調整に悲鳴をあげている。儲かる仕事までも断っている状況である。よって、景気はやや良くなっていると判断する。	
	雇用	公共職業安定所	有効求職者が微増、有効求人数が減少傾向にあり、対前年同月比で見たと有効求人倍率は、8月時点で5か月連続減少している。しかし、前月と比較した有効求人倍率は3か月連続で上昇しており、回復基調にある。	
		求人開拓員	当センターでは、求人と求職の合同の面接会を10月29日に行うが、今回は求人企業を集めるのに前回ほど苦労しなかった。断った企業も4社あった。前回が1月23日だったが、前回は苦労した。事業所が人を求めている。	
	変わらない	家計	スーパー	店の売上げ、客数が伸びているわけではない。
			スーパー	目立つ変化はない。
			スーパー	数字的に予算比・前年比の伸び率が同じ。シルバーウィークと騒いでいるが、給料が伸びていないのに連休が増えても景気がプラスにならない。どこかでしわ寄せがくる。
小売業（食品・酒類）			すべてにおいて良くも悪くも全く変化はない。	
小売業（生花店）			新規の客が増えない。	
専門スーパー			3か月前と売上げの昨対比で変化が見られない。	
小売業（米穀）			9月は新米の時期で贈答用が多いのですが、それは毎年のこと。市のプレミアム商品券や県の茨城県産米のプレミアム商品券の利用もますますですが、使用期間終了後はどうなるか…。まだ、9月も始まったばかりですが（9/8）、ここまで対前年比はトントンです。	
和食食堂			客単価が高い人は高く、低い人は低くなっている。	
寿司店			売上げもあまり変化がなく、客足も新しいお客様もなく推移。お盆などで一時的に盛況な日はあったが、あくまで一時的なものであった。	
都市型ホテル			ホテル宿泊としては、チャイナマネーもありインバウンドが多く来館があった。とは言え、過去比較で総合的には増加には至ってはいなかった。インバウンドがなければ、景気は多少悪化と思われた。宴会・レストランも大きく変化することなく横ばいであった。	
旅行代理店			旅行などに出かけられるお客様の人数や回数などが大きく減っている感はないものの、近場にしたり日帰りをするなど、料金にとっても慎重で厳しいように思う。	
タクシー運転手			お客様の話の内容から「変わらない」と判断。	
ゴルフ場			お客様の予約状況より、大きな変動は感じない。来場者の単価にも変動がないと思える。	
ゴルフ場			前回「やや良くなっている」と回答したが、その状態は続いていると思われる。今月は、初のシルバーウィークもあり、集客も期待出来そうだ。	
理・美容店		良くも悪くも、それほど3か月前とは変わらない。お客様もそんなに回数とかも変わっていない。ただし、来なくなるお客様もいるので悪い方に進んではいるかもしれない。		
住宅販売会社		土地の動きも落ち着き始めた。		
企業		農業関係者	9月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度6月期からと比較すると、両者ともに減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、若干の増加傾向はみられるもののほぼ変わりはない。	
		製造業（食料品）	ガソリン等の燃料費は安くなってきたが、その他の包装資材等は値段が変わりません。株価が上昇したといっても、一般の人は変わりありません。お客様の財布の紐もゆるくはなっていません。	
		製造業（飲料）	良いとも悪いとも聞かない。	
		製造業（家具・装飾品）	仕事（売上げ）はありますが、やはり価格が上がりません。全体として暇なことはありませんが、利益が上がりにくいです。消費税10%が気がかりです。	
	製造業（窯業・土石製品）	東北関係は活況が続いているが、関東以外は前年割れが続いており、全体的には良くなっていない。		
	製造業（一般機械器具）	何の変化もない。		
	建設業	本来ならば、予想として8月中旬から9月に向け20%以上良くなると判断しておりましたが、予定される物件の発注が遅れている。客先の上司の出張が長引き、捺印がもらえないとのこと。社長は、と伺いますと御一緒におられるとのこと。課長権限では発注できない。なお、全体的な情報としては、9月に入っても発注が遅れている。レストラン、床屋なども客足が伸びないとのこと。経営者の出入りが不規則で回数も減っているという。		
	建設業	仕事量はあまり変化がない状況。		
	建設業	取引先等からの見積り依頼が、3か月前とあまり変わらない。		
	金融業	全体的に業況等に関しては特段の変化は感じられない。新規事業所等の進出は少なく、不動産の売買もある程度の事例はあるものの、まだまだ動きは鈍化している。企業の設備資金の需要も以前と変わらず少なく、景気自体は3か月前と変化なしと思われる。		
不動産業	県南13支店の総合した所見として変わりません。ただし、支店間（地域差）を見ると、TX沿線が良く、旧市街JR沿線の各支店ではあまり良くありません。業者間格差もかなり出ており、法人組織化・システム化したデジタル型と個人的なアナログ型の経営に差が出ています。			
雇用	人材派遣業	派遣活用の受注量が増加しておらず、横ばい。		
	求人広告	「宴会だけでなく、少人数で飲むお客様も減っているように感じる。」と飲食店のお客様からよく聞く。		

やや悪くなっている	家計	和食食堂	7, 8, 9月は農繁期ですので悪い。
		洋食食堂	飲食業は消費税, 原材料の値上げ, 人件費, アルコール類の半額競争等, 利益の出やすいはずのメニューで売上げを伸ばせない。8月は前年比同じ売上げなのに, 経営は苦しい。固定費を見直さなければいけないと思う。
		タクシー運転手	駅構内の動きが, 以前より悪くなっている。特に, 夜7時以降は2時間に1回くらいしか動きがない。
		タクシー運転手	乗車回数が減少している。特に, 夕方から夜間が前より少ない。
		ボウリング場	若者のレジャー志向の変化か, 利用頻度に減少を感じる。シニア層には, 健康のためにと上向き感はある。
		レジャー施設	売上げ及び来場者数が下降傾向にある。
		企業	農業関係者
	製造業 (金属製品)		受注残高が少なくなりつつある。
	製造業 (食料品)		<b>株価下落の影響か, 客数, 客単価とも落ちている。</b>
	製造業 (印刷業)		来店者数が減っている。
	製造業 (窯業・土石製品)		天候不順の影響で出荷が伸び悩んでいる。
	運輸業 (倉庫業)		化学工業品の生産が調整され, 入庫が減少傾向にある。同業他社があり, 売行きは不透明になっている。食料工業品は好調で, 昨年の同時期よりも上昇傾向になってきているが, 全体を考えると以前よりも悪くなっているようだ。
雇用	学校就職関係者	株価の変動など景気悪化要素が多く, 停滞ムードを感じる。景気の良い話は出ていない。	
悪	家計	日本料理店	今年4月にあった牛久市や龍ヶ崎とテレビの放映の影響のせいかわ, 地元はともかく東京, 千葉などからのお客様が増えたので, 売上げが20~30%UPした。9月に入って, 特に夜はバツタリと暇になってしまった。
		タクシー会社	各自治体の発行するプレミアム券は, あっという間に売り切れてしまう。少しでも利幅のあるものを購入しようとする市民が殺到している。以上の状況から見ると, 景気は悪くなっている。

## (5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	農産物直売所	お盆中(8/8~8/16)の売上げ金額が前年を上回っていました。やや景気は良いのかと感じました。
		専門スーパー	猛暑効果もあり、若干の客数・客単価が伸び消費動向が良くなりました。
		旅行会社	個人旅行も増えてきているし、団体でのバス旅行も昨年より増えてきている。シルバーウィークがあるからかもしれない。周りを見ると、家を建てたり、新車を買ったりと高額購入する人が増えている。
		タクシー会社	タクシーの利用客が増えた。特に法人客の依頼が増えてきている。
		建築設計事務所	農業関係の好景気が設備投資につながってきている。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	おかげさまで、現在当社は忙しく、工場は稼働していますが、先行きは不透明です。なぜならば、小売店さんが仕事がない、取れないので、転業もしくは廃業も考えていると言う声を少なからず聞きます。しかし、必要最小限は残るので、生き残りをかけて業態を変え、必要とされる会社作りを進めます。
		建設業	ここに来て、市や県の工事がでている。工事金額も増えている。
		不動産業	売買客が増加傾向。賃貸の高額物件が決まる。
	雇用	公共職業安定所	新規の求人数は、5~7月で対前年同期比12.5%増加していて、求人数からみれば雇用情勢は改善している。ただし、6月に管内で工場閉鎖があり、大量離職者が発生。それにより、新規求職者数も増加していて、7月末の有効求人倍率は1.10倍となっている。また、有効正社員求人倍率は0.70倍で、依然と正社員求人は不足している。
		求人開拓員	就職相談に来られる方がかなり減っている(新規が少ない)。現在、相談に来る方は大体同じ方々で、一回採用になってもすぐ辞めてしまったりする方だったりする。
変わらない	家計	商店街代表者	客単価が相変わらず低い。(2~3年前は1,500円くらい、ここ1~2年は1,000円くらい)
		スーパー	特に変化はない。
		自動車販売店	前年と同じくらいの市場でここ2か月くらい動いています。車の場合、高額車の売行きに落ち込みがあるものの、コンパクトカーが売れている。そのため、収益面では確保が難しい。
		和食食堂	ご来店いただくお客様の数は増えていますが、その分、配達が減っているの、売上げは変わらない状況です。
		飲食業	売上げ数字や来客数から見て変わらないようです。
		和食レストラン	来客数、売上げともにあまり変化がない。
		都市型ホテル	<b>8月からプレミアム商品券の利用が始まったが、売上げや来客数は前年同期と比較してもほぼ横ばい状態。</b>
		タクシー運転手	夜10時以降のお客様が少ない状況が続いている。
		ドライブイン	客数・客単価ともに大きな変化はない。県や町のプレミアム商品券の利用も多いが、その分が上乗せされて購入されてはいない。
		ゴルフ場	予約状況より判断致しました。
		ゴルフ場	シルバーウィークという大型連休があるが、ゴールデンウィークのような盛り上がりもなく、大きな動きを感じられない。
		レジャー施設	直近3か月での売上げを見ると、前年度並みの推移をしている。圏央道の古河境IC開通となるも、下妻市までの好影響は見受けられない。客数においても前年並みであった。
		理・美容店	忙しい方は「人手が足りない」、忙しい方は「仕事が少ない」と、以前からこのような会話がある。
		住宅販売会社	相変わらず、折衝となるお客様の数が伸びない。
		企業	農業関係者
製造業(食料品)	<b>請負先の会社からの発注自体、現状維持が続いているうえ、当社の体制から見ても、人員の確保の面から見ても、現状維持が精一杯である。</b>		
製造業(化学工業)	エレクトロニクス、自動車とも需要低迷が続いている。		
製造業(一般機械器具)	近隣の様子と当社の受注の様子から判断。		
製造業(電気機械器具)	受注量減対応の人員体制が継続している。		
金融業	<b>企業努力により売上げ増加している企業、減少している企業がはっきりと分かれている。しかしながら、全体的に見ると業績はほぼ横ばいで推移している企業が多く、景気は変わらない。</b>		
雇用	学校就職関係者	<b>3か月前と変わらず、今年は一貫して就職状況が良い。高卒就職者を求める企業が多く、雇用情勢は上向き傾向に感じる。</b>	
やや悪い	家計	日本料理店	4月、5月は売上げが前年を上回りましたが、6~8月は前年より低下しました。要因としては、都市部を除いて物価上昇率に実質賃金が追いついていないことのように思われます。したがって、財布の紐が固まっているのではないのでしょうか。
		旅行代理店	年金受給者に尋ねると、段々と支給額が減少し、旅行に行くほどお金がありません、との声です。野菜の価格は最高値です。燃料代は落ち着いていますが、乗客が少なくて出発できない。旅行参加者が減少。お買い物ツアーもキャンセルが目立ちます。

やや悪くなっている	企業	農業関係者	各支払い等で、預金残高が減少している等。
		製造業（印刷・同関連業）	夏場から受注量が減少している。周囲の同業者も仕事が薄く、加えて価格低下が著しいとの話が増えている。特に、条件等を明らかにしない「ネット価格」の影響が大きくなっている。TV等でも宣伝されるので、それが普通の価格と思っているようだ。官公庁までその意識が浸透しつつあるようだ。
		製造業（窯業・土石製品）	受注残減少。
		製造業（金属製品）	自動車関連を中心に、需要の停滞が感じられる。
		建設業	元気のある会社が少ない。
	雇用	求人広告	お客様の元へ訪問したとき、世間話をすると「景気が悪い」と答える企業が圧倒的に多くなった。売上げが減った、在庫が余っている、集客が落ちているなど、ネガティブな意見が多かった。また、打ち合わせの内容も、求人などの特来への投資よりも、販促依頼が多い。お客様の商売の相談を受ける事が増えてきた。
悪くなっている	家計	商店街代表者	大災害の影響。
		和食食堂	秋の長雨と台風の影響でキャンセルが出た。野菜などもまた値上りしていて、利益率が悪くなっている。
		ゲームセンター	8月以降、急激に売上げが下がっている。
		クリーニング店	お祭りの多い時期で、人手は多かったのですが、物の売行きはよくありませんでした。購買力は上がっていないような・・・
	雇用	人材派遣業	40人くらいの仕事を減らされた。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	建築現場が仕上げ時期に入り、少しずつ施行する数が増えていきそう。
		小売業（弁当・惣菜店）	<b>売上げも悪くなく順調である。ただ、本当に景気が良くなったかという点、まだ不安感もある。何らかの社会的な要因での変化にまだ弱い気がする。</b>
		小売業（時計）	月初め頃、昨年より良好。
		スナック	プレミアム券などの発行で消費が増えている気がする。
		観光型ホテル	今現在が著しく悪い。
	観光型ホテル	3か月後の予約も、前年同期と比較して予約率も高くなっており、景気はやや良くなっていると思う。	
	企業	林業関係者	伐採時期も良くなり、材価等の値上がりを期待したい。
		製造業（電気機械器具）	公共物件対応のため、下期に集中しやすい（年度内完成）。
		製造業（電気機械器具）	現在と比較して、売上げの増加が見込まれる。
		運輸附带サービス業	現状の作業量が、6か月くらい継続、かつ増加傾向の予定である。
変わらない	家計	スーパー	原材料費の値上げが相次ぎ、単価は毎月前年比を上回っていることは懸念材料であるが、点数の前年比ダウンは見られないため、現状維持で推移すると見られる。ただし、株価等の推移を見ると来年（半年先以降）が心配。
		スーパー	この6か月を平均して売れている。
		スーパー	年末まで出費を抑える傾向は続く、と考えています。
		農産物直売所	災害などもあった。
		小売業（酒類）	現状のまま推移するような気がします。
		小売業（水産物）	必要最低限のお買い物でとどまっている。
		中国料理店	お客様の話でも、景気の良い話はほとんど聞かない。でも、みなさん元気なので、3か月先は、せめて例年通りの景気になると良いと思います。
		食堂	娘が宣伝してくれるので、助かっている。4人で来ても2~3人がラーメン等食べて、残りはおにぎり、汁とお新香をサービス。収入の格差が激しいです。
		観光型ホテル	今のお客様は、お金を消費する時のメリハリを自分の中で決めていると感じる。
		旅行代理店	3か月先の受注状況も現状と同様、前年同期と比較し、受注件数が減少している。
	タクシー運転手	アベノミクスも思ったほど効果が上がっていないように思う。	
	タクシー運転手	アベノミクスの「第3の矢」を放つも、現日本の経済は、中国の景気の失速感や米国の政策金利引き上げの動向の不透明感で、株価は急激に下がり、さらに乱高下を繰り返す不安定な状態で、決して景気が良いと向上していると見える状態ではない。しかし、タクシー景気で見てみると、売上げが長期間にわたって下った状態で維持されると、今の時期はタクシーの需要の必要最低利用台数じゃないかと思えてくる。そうだとすれば、景気は悪くもならないし、よほどなことが起きない限り良くもならないし、変わらないということになる。	
	レジャー施設	好不況となる要因が見受けられない。	
	ゴルフ場	個人消費が思ったより伸びていない。消費税増税等による。	
ゴルフ場	予約の状況から見て、大きな変化は見受けられない。		
ボウリング場	安い時間にしかゲームに来ない。		
住宅販売会社	顕著な動きは見受けられない。		
企業	製造業（電気機械器具）	継続した作業時間が予測できている。	
	製造業（電気機械器具）	先行きの見通しが不透明である。	
	製造業（一般機械器具）	受注増（回復）の見込みがない。	
	製造業（輸送用機械器具）	現在の環境に大きな変化が表れないと想定される。	
	製造業（精密機器）	通年、秋は忙しくなるが、世界経済の様子がマイナスの傾向にあり、相殺するのではないかと。	
	建設業	何人かのお客様の話では、仕事は多く忙しいのに、景気が良くなっている実感がない、と異口同音に言っている。普段の仕事でもあまり変化はないので、景気はさほど変わらないと思う。	
	金融業	企業城下町として、日立製作所関連への依存度は高く、全ての業種が今後の景気についても大きな変化はないように思われる。	
	不動産業	業界全体として、好材料が見当たらない。	
	情報通信業（情報サービス業）	マイナンバー制度導入に伴う特需に期待したが、設備投資には慎重で、商談に結びつかない。	
	雇用	求人広告	時期的な要因で上がったとしても、景気としては大きな変化はないと思う。
学校就業関係者		企業の人事担当者の話などから判断して、変わらないと思う。	
求人開拓員		<b>中小製造事業所では、設備投資をして受注に対応しているが、大手製造業の輸出不振などの先行き不安を感じている。</b>	

やや悪くなっている	商店街代表者	中国経済の減速から広がる世界経済への不安感から、消費の引き締まりが起きるのではないかと思います。	
	衣料品販売店	来客数が増加する理由が見られない。	
	居酒屋	宴会が少ない。	
	タクシー運転手	夜間の仕事がない。	
	ドライブイン	客単価が下がっている。次の消費税増税に対する不安からか、不必要な買い物は控えている様子がある。	
	クリーニング店	お客様の様子から、また、お話からも景気の良い話はほとんどない。	
	企業	水産業関係者	きっかけになる事案がない。
		製造業（電気機械器具）	受注及び引き合いが減少している。
		製造業（電気機械器具）	中国の経済の悪化。
		製造業（電気機械器具）	約3か月後には、国内向け新機種受注が見込まれる。
		運輸業	顧客への訪問による聞き取りで、生産計画が下方修正されているらしい。
雇用	公共職業安定所	大量雇用の動きが見られないことや、ここに来て自己都合の退職理由退職者が目立ってきたため、新規求職者の増加が懸念され、それにより求人倍率の低下が思料される。	
悪	家計	ゴルフ場	10～12月の予約状況は前年比50%ベースである。引き続き料金設定が低い方に流れ、売上げ減が懸念される。
	企業	製造業（精密機器）	試作も減っているし、案件が少ない状況です。来年ももっと減るかも。見通しが現状ない状態です。



## (2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	3か月先の12月はクリスマスや歳暮商戦で来店客数が増え、客単価が上がると予測されるため、景気はやや良くなると思う。
		スーパー	客単価がわずかながら上昇した。
		割烹料理店	3か月後というと、忘年会シーズンなので多くのお客様が来られることに期待を込めて。
		都市型ホテル	訪日外国人の増加。
		都市型ホテル	現時点での予約状況は、昨年並みの伸びであり、大きくマイナスするとは予想できず、現時点では若干回復すると思われる。
		観光型ホテル	<b>先行予約状況が順調に推移している。</b>
		タクシー運転手	3か月先の12月はクリスマスや忘年会があり、乗客が増えることが予想されるが、それは毎年のことである。しかしながら、客単価が増加傾向にあり、3か月先もこの傾向は続くと思われるので、景気はやや良くなると思う。
		タクシー会社	現状の内容から判断して、悪くなる材料はないものと考えます。多少の景気変動はあるものの、上昇傾向は続くものと判断しています。
	ゴルフ場	予約申込みが増加傾向を示している。あとは天候次第で減少も危惧される。	
	理・美容店	今月は農繁期で忙しいため、出だしが悪い。3か月後は年末ということもあり、今月よりは良くなっていると思う。	
	企業	農業関係者	市内の観光イベント等が開催され、商工関係者は観光客が訪れ、潤うのではないかと。
		製造業(精密機械器具)	当社の受注・売上げ傾向として、上期よりも下期に回復するので、今回も下期に期待しています。
		運輸業(道路貨物運送業)	貨物の動きが若干良くなっていく傾向が見られる。
		サービス業(広告業)	年末商戦に入るので、広告宣伝の出稿数は上がる。マイナス要因は今のところない。
雇用	公共職業安定所	求人量の減少が見られない。	
変わらない	家計	商店街代表者	なかなか良くならない。中心街から事業所が少なくなっており、受注量、受注額が年々縮小している。
		百貨店、総合スーパー	プレミアム商品券の効果を期待しているが、増税後から購入を慎重になっているお客様が多いのに、3か月で変わるとは考えづらい。
		スーパー	生鮮品や卵など値上げが多く、年末消費も厳しい状況が続くと思います。
		スーパー	明るいニュースが少なく、また、災害等もあった(鬼怒川の洪水)ので、消費者心理にマイナスに働き、見通しは悪いと思う。
		農産物直売所	原材料の値上げはあるが、レストラン、イベント等の予約の入り方は前年並となっている。
		楽器販売	感じられる部分としての上向き感がない。現状維持が出来れば御の字。希望を込めて「変わらない」。
		レストラン	大きな動きは見られない。
		レストラン	現状のまま推移するように思える。予約の伸びが大きく動いている様子もなく、お客様の利用も極端に変わらないように思える。
		レストラン	12月の忘年会シーズンも、前年と同数・同企業で、新規での問合せ・申込みはない。
		旅行会社	茨城県のプレミアム付き宿泊券や周遊券など発行しているが、使用した人はなく、「地域住民生活緊急支援」になっていないと思う。
		タクシー運転手	よくお客様に聞かれますが、「どうですか?忙しいですか?」と。私はいつも「まあまあです」と。お客様が経営者ですと、お客様の言うことは「暇ですわ」と。タクシーはこれから先、忙しくなるはずがありません。
		タクシー会社	(売上げが) やや右肩上がりで推移しているように感じられるものの、軽減税率の話題で消費税論議が再燃しているため、心理的に消費行動が抑制されることになるのではないかと考えられる。そのために、より増加傾向に推移するとは思われない。
		ドライブイン	これから3か月先、秋のシーズンの観光で少しは団体のお客様がいらっしやと思うが、前年並だと思います。
		観光名所	<b>プレミアム商品券等の景気刺激策はあるものの、それでも売上高に関してはほぼ横ばい。今後もこのような状況が続くとみられる。東京オリンピックの特需が地方に波及するには、まだまだ先のように感じる。</b>
	レジャー施設	この先3か月の見通しにおいても、景気動向に対する判断材料は見当たらない。	
	スーパー銭湯	秋雨前線の停滞がこの時期に長く続く秋のスタートは、今後の景気にどのように響いてくるのか心配になりますが、この夏の好況感が良いムードとして残っていくことで継続できると思われますので、変わらないと記入しました。	
	レジャー施設	新規の契約申込みも、契約の解除もない。	
	住宅販売会社	<b>株価も不安定になっており、先行きが見通せない。</b>	
	企業	製造業(印刷・同関連業)	好転する要素が見当たらない。
		製造業(窯業・土石製品)	良い話が全くない。
製造業(一般機械器具)		変わらない気がするだけで、どうなっていくか見えない。	

変わらない	金融業	今後3か月先の景気に関しても、依然として消費低迷の状況が続き、売上高横ばいの見通しとの話が多く、景気改善なく推移するものと思われる。
	企業 情報通信業（情報サービス業）	業種や業態にもよるが、一部の顧客からは海外情勢の動向から、業績の先行きを懸念する声が出てはいるが、これが直ちに地元市場に影響が出るとは思えず、3か月先の景気は横ばいと予想する。
	サービス業（コンタクト業）	3か月という短期間ではあまり変化はないように思われる。
	雇用 人材派遣業	クライアントによって良い企業も良くない企業があるので何とも言えない。
	求人広告	中小以下の企業に好転がなく、相対的に恩恵を受ける人が少ない。
雇用	学校就業関係者	求人票の給与に関しても、ベースアップの情報はないので、良くも悪くも現状維持と思われる。
	求人開拓員	買い物に行くと、今年の春から食料品（チルド（乳製品）・野菜など）の値上げ品目が多く、物価が上昇していると感じられます。賃上げなどがあつた割には、今後も市内消費の冷え込みが予想されます。企業にとっても株価が不安定など、先行き景気の不安感もあります。水戸市プレミアム商品券の発売があり、地域消費が活発になれば雇用も良くなります。消費が活発になれば生産活動（企業）が活発になり、中高年の採用状況も良くなるでしょう。
	家計 商店街代表者	8月中旬からの天候不順が影響しそう。
	スーパー	株等の影響で先行きが不透明な状態で、お客様の財布の紐は固くなると思われる。
やや悪くなっている	家計 スーパー	プレミアム付商品券の回収率が上がるにつれ、売上げの伸びが鈍化しているので、今後さらに厳しくなると予想される。
	家電販売店	お客様は年の上の人が多く、年金が減るなど収入が少なくなっている。
	旅行代理店	水害被害が景気に左右されると思う。
	企業 建築設計事務所	技術者の減少から、物件に対する単価が上昇傾向のため、設備投資は足踏み状況と思える。
	製造業（印刷・同関連業）	資材だけでなく保険料等も上昇していて、景気の良くなる要素が見られない。
	製造業（金属製品）	<b>メーカーや取引先が、口をそろえて先行きが不安だと言っている。先行きの案件は少なくはないが、なかなか契約までは話が進まない。</b>
悪	家計 建設業	顧客動向に慎重さが見える。
	不動産業	12月頃は年末年始の関係もあり、部屋探しのお客様は少なくなるため、現状よりやや悪くなっていると判断する。
	企業 自動車販売店	株安の影響で、個人の方の購入意欲が落ちてきている。特に、シニア世代が株の動向に敏感である。
企業 製造業（食料品）	先行消費を促すような施策が実行されるとは思えない。消費税アップを声高にアピールして消費を冷やませている。	

## (3) 鹿行地域 【先行き】

(-: 回答が存在しない。 O: 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	製造業（食料品）	12月までプレミアム商品券が有効。したがって、年内は良くなっていくと思うが、年が変わってどうなるか心配。
やや良くなっている	家計	小売業（書店）	今年に入ってから、前年を上回る月が多いが、やや良くなっている状況です。（総合的に見て、ややですが良くなっている状況です。）
		洋食食堂	プレミアム商品券の利用が年末くらいまで続きそう。スーパーが移転新装開店し、コンビニもできる。人の集まる地域として存在価値が高まっているので、人や車の流れが増えると思う。
		タクシー運転手	年末の繁忙期にかけて、乗車率も良くなるのではと期待のこもった観測です。
		ドライブイン	干し芋など、地場農産物の加工品に期待ができる。
企業	製造業（食料品）	繁忙期に入り、フル生産の予定。	
	製造業（電気機械器具）	受注の見込める案件がいくつかある。	
	建設業	希望的な面も多分に含んでおりますが、今後の3か月先は良くなってもらいたいです。	
変わらない	家計	商店街代表者	消費税増税、将来における社会保障の不安要因等から、消費の改善は見られない。地方では、物価指数を差し引いた実質賃金が上昇に転じた気配は全く感じられない。良くなる要因が見当たらない。
		スーパー	景気は変わらないと思います。しかし、野菜や魚が前年より高くなっているため、売上げは少し良くなっていると思います。
		スーパー	現状のままで、大きく変わる要素が見えない。一般食品などの商品で一部値上げもあり、販売点数が伸びない。
		衣料品販売店	今年の客数に対して下回っている。
		家電販売店	株と為替の上下で変化があるので、トータルは変わらないと予想。
		農産物直売所	ここ数か月、前年並みの動きとなっている。
		小売業（菓子類）	特に変化があるとは思えない。
		小売業（薬品店）	会社の業績は良いが、自分たちの給料は上がらないという声をよく聞く。
		小売業（食品）	農家(米作)の売価は昨年並で良くない。農家の景気が良ければ市場は明るいと思う。
		和食レストラン	売上高から判断。
		割烹料理店	消費税が上がった分を、お客様の予算の方に足すことができず、予算額、客単価が上がらず売上げが伸びない。
		日本料理店	株価も下がり、世界に対して企業の需要がなくなってきている。
		観光型ホテル	予約状況が昨年同月と同じくらい。
		観光型ホテル	年末の休前日はほぼ予約でいっぱいだが、今頃頃このような状況になるのは例年と同じである。毎年ご利用の方も昨年度と同様にというご予約が多く、客単価が変わらない。
		タクシー運転手	現状の経済環境から判断して、早期に景気上昇するとは考えられない。
		タクシー運転手	12月は忘年会等で多少の売上げ増は期待出来るが、それ以外は伸びる要因がない。
		理・美容店	3か月前、6か月前とあまり変化がないので、3か月先も同じだと思う。
		クリーニング店	衣替えの時期なので、3か月先は良いと思うが例年通りです。
		住宅販売会社	今後3か月では、大きく動く要素がない。
		住宅販売会社	変わる要因が見当たらない。
企業	企業	農業関係者	消費者の購買意欲をまだまだ感じないため、今後もあまり変わらないと思います。
		製造業（食料品）	夏の暑さから解放され、この時期から仕事の忙しさ、売上げ増の厳しさを気分的にリセットする時期です。厳しい景気状況から抜け出したとは思えないが、あまりそのようなことを感じない。
		製造業（食料品）	プレミアム商品券発行の効果もあまり実感できずに現在の販売状況が続く中では、製品価格の一部引き下げを視野に入れざるを得ない。
		製造業（金属製品）	一般的な購買力が低くなっている。
		建設業	少子高齢化が進んでおり、やはり新築は少ないです。リフォームに力を入れていきます。
		運輸業（道路貨物運送業）	上半期の動きの鈍さを解消させるほどの、弾力性のある動きは期待出来ない。原油の値上げがなかった分、逆に助かっているのではないかと。仕事が入っても続かない。
		金融業	私どもの取引先である中小零細企業においては、売上高から前年と同水準で推移している企業がほとんどであり、業況が好転している企業はあまり見受けられず、今後3か月の景気については変わらないと思われる。
		保険業	米価が昨年より1,000円高いくらいでいるが、数量が減少しているため取入に変化がない。
		内装工事業	売上げも伸びず給料も上がらず。このような状態で景気が良くなるはずがない。天と地がひっくり返るくらいの景気対策があればよいのですがね。
		火力発電所	特に好転材料が見当たらない。

変わらない	人材派遣業	消費税の10%への情報が話題になっており、先々の景気動向は庶民感覚では読みにくいです。願いとしては消費が拡大し、生産も旺盛に向かってくれることを願うのみです。
	民間職業紹介業	求人企業はだいたい増加傾向にありますが、相変わらず求職者が少なく、マッチングが難しい状況。
	公共職業安定所	<b>すべての求人事業所の回答ではないが、求人理由は「欠員補充によるもの」の方が「増員」によるものより多かった。</b>
	学校就職関係者	特段、上向き感はないことから、現状維持の感じはする。
	求人開拓員	賞与が増えているのは、都会の企業の話のようであり、地方の中小企業からは増やした話は聞こえてこない。景気の良い話はまだまだ地方には及んでいない気がする。3か月後も状況は変わらないと思う。
やや悪くなっている	農産物直売所	お客様のお買い上げの仕方を見ても、自分自身が買い物に行っても、景気が良くなるなど感じる事が皆無に等しい。目に見えるところとしては、買い物袋をぶら下げている人が少ないところなど。
	精肉店	このまま肉の相場が上がると、12月頃は小売りの値も上げざるを得ないので、売上げが伸びないのではと心配する。
	ゴルフ場	客単価は減少傾向にある。
	理・美容店	クーポン利用による一時的上向きが、その後の景気を悪くする。1年で使える金額に変化がないのですから。
企業	製造業（食料品）	野菜を扱う仕事なので、8～9月の長雨や日照不足の影響が今後出るんじゃないかと心配。
	製造業（鉄鋼業）	業界の問題かもしれないが、在庫調整が計画通り進んでおらず、良い状況ではない。
	不動産業	3か月先に良くなる要素がないと思います。ただ、当社は毎年先行投資は続けたいと思います。
悪	海鮮料理店	連休が多くなり、また、近いうちに消費税など値上がりや天候などで食費などが高くなり、日々の暮らしを節約するなど外食する人達が減っていく傾向があります。
	サービス業	海外要因が大きいと考える。国内の各種工業製品市場の劇的な伸びが考えられない中、為替管理による輸出振興で景気回復基調にあったものの、中国を中心としたアジア市場の不透明感が大きく、景気は悪化するのではと判断している。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	スーパー	プレミアム商品券の効果もほとんど影響はなくなると思うが、現在のところは悪くなる要因は考えられない。
		農産物直売所	当店は直売所のため新鮮な野菜があるので、業者、商売人（食堂・料理屋）等の客も多い。高くても良いから、新鮮な物を買っていく。
		日本料理店	今月（9月）に比べれば、七五三や忘年会などがあるため良くなる。
		都市型ホテル	2〜3か月先（11月・12月）の予約も入ってきており、ある程度生活に余裕ができてきたのか、良くなっていくように思われる。
		タクシー運転手	<b>ここ最近、個人客の利用頻度が多くなってきたので、少しずつ景気が上向いてきていると思う。</b>
	企業	建設業	年末に向け、そろそろ発注も予算付されるだろうと見込んでいますが、私も毎日のように外出し、多くの経営者と接しています。レストランオーナー、水道工事業者、印刷業者、電気修理業者、学校（高校）の先生、生徒の中には人手不足で家業を手伝わされている者もいる。農家の果物の箱詰作業、スーパーの品物選別、最近子供の手伝いは聞かないが、そうではないという。当家でも、小学2年生にナス・トマト・キュウリの収穫を本人の希望で手伝いをさせています。
		建設業	3か月先の年末は、工事受注が多いのは毎年のことである。しかし、年末までの工事受注はほぼ確保しており、今後更なる受注を見込むと、応援の人手を増やさなければならないと思う。よって、3か月先は今より景気はやや良くなっていると思う。
		建設業	取引先からの話で、建設計画等がある程度の数で話があると聞いている。
	雇用	求人開拓員	最近、他地区センター（県西、水戸等）より県南地区担当の求人票作成依頼が多く感じる。1つの事業所が複数の出先に求人を出していると思われる。
	変わらない	家計	小売業（食品・酒類）
小売業（生花店）			土浦駅前の市役所移転に伴う集客は駅前周辺のみで、中間に空き駐車場が多く点在するなど、商店の連続性がないことや、イベント会場（市民会館など）が遠いことから、集客要素が少ないので、増加する要素が少ない。
専門スーパー			良くなる理由も悪くなる理由も浮かびません。
和食食堂			特段変わった動きは見られない。
都市型ホテル			現状オンハンド状況では、宴会（忘年会新年会）など受注状況は微減している。レストランの動きは、駅前ビル開業により、賑わいが出てくると思う。その事由で景気はあまり変わらないと思われる。
旅行代理店			秋の紅葉などのシーズンに入り、旅行者は増えますが、消費税増税などの影響もあり、売上げの増加はあまり見込めない。
タクシー運転手			年末に向けて、多少期待するが、みなさま昔に比べて飲む機会が減ってきていると話している。
タクシー運転手			地元への進出企業もなく、大型分譲地予定もなく、人口の増加は考えられない。また、企業ぐるみの宴席や接待も増加が見込めそうにない。
タクシー運転手			企業・景気とも将来良くなる話が出ていない。
ゴルフ場			ゴルフ場のコンペ予約などを見ると、例年の予約のみが先行している。新規利用はあまり増えていない。
ゴルフ場			現在以上の景気に関する期待感は見受けられない。あるとすれば、オンシーズンに入ることか。
ボウリング場			消費志向に大きな変化は感じられないが、天候に左右されるであろうがシニア層の秋の行楽に望みがある。
レジャー施設			景気が上昇する要素が思い当たらない。
理・美容店			株価などは上がっているようだが、末端の人々にはそんなに変わりはないと思われる。消費税が変わるなら、もしや悪くなるのかもしれない。
住宅販売会社			年末に向けて大きな変化は期待出来ない。
企業			農業関係者
	製造業（食料品）	世の中全体が急に景気が良くなるとは思えない。	
	製造業（食料品）	先行きの景気を押し上げる良い要素が感じられなく、景気の悪い状況は変わらないと思います。	
	製造業（飲料）	良くなる材料がない。	
	製造業（家具・装備品）	変わらないでほしいです。	
	製造業（窯業・土石製品）	<b>仕事は例年の傾向から増加すると思われるが、原材料価格の上昇により変わらないと思う。</b>	
	製造業（非鉄金属）	中国の景気動向から、証券・債券・為替等に大きな変動が起きており、業界の先行きの見通しが不明。目下のところ、良くなるか悪くなるかどちらとも予想ができない。	
	製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。	
	建設業	まだ変化の兆しが見られない。	
	運輸業（倉庫業）	3か月先は12月のため、増加要因は通常に近いと思われる。全体的に見ると、減少傾向に近いので、あまり変わらないと思われる。	
	金融業	経済効果に結びつくような話題も相変わらず少なく感じる。引き続き現状と変化なく推移するものと思われる。	
不動産業	地域ごとや業者間で格差は見られるが、総合的に変わらない中で、特段良くなる要因や悪くなる要因は見当たりません。		

変わらない	雇用	人材派遣業	年末に近くなり、通年どおり動きも鈍化傾向になるかと思われる。
		求人広告	上向きになっている要因が見えない。
		公共職業安定所	新規求人数は、対前年同月比で減少傾向にあるが、3か月前との比較では増加している。指数的には緩やかではあるが、先行きに明るさも見られる結果となっている。しかし、求人事業者からそのような声は聞かれない。
		学校就職関係者	車の買い替えに関しても10年、10万キロを超えても買い替えないという人が多い。服なども買い替えスパンが伸びていると感じる。
やや悪くなっている	家計	スーパー	社会情勢に不安な要素が多いように思える。
		スーパー	世界株安の心配。
		スーパー	シルバーウィークやハロウィンで毎年売上げが伸びるなか、年間の給料はまったく伸びていない。その結果、年末年始はややマイナス。また、自店的には11月に競合店が2km以内に出店予定なので影響はある。
		小売業（米穀）	<b>夏の天候が不順だったために、お米の出来が悪く今後が心配です。また、市場価格が上がっているが、その分を価格に上乗せ出来ないで、景気は悪くなってくると予想します。</b>
		和食食堂	外食や身の回り品が減っている。
		洋食食堂	忘年会やクリスマス等の季節要因を除くとすれば、個人のお客様の来店は、客単価が高い当店は見込めない。
		寿司店	株価等々の動向などを見ますと、若干消費に影響が出てくるものと思われる。
		企業	農業関係者
製造業（窯業・土石製品）	東北関係は活況が続いているが、関東以外は前年割れが続いており、全般的には良くなっていない。		
悪	企業	製造業（印刷業）	買い控えにより、さらに来店者数が減るとされる。

## (5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	旅行会社	周りを見ると、家を建てたり、新車を買ったりと高額購入する人が増えている。年末年始にかかってくるので、消費は増すと思います。旅行を考える人も増えてくると思われる。
		自動車販売店	各社新型車の投入により、市場が活性化して伸びが期待できると思う。
やや良くなっている	家計	農産物直売所	今年は、カレンダー上でシルバーウィークとなるので、一時的に良くなっているかなと予想します。
		和食食堂	忘年会の時期であり、客数も今より多くなり、客単価も上がると思うので、今よりはやや良くなっていると思う。
		都市型ホテル	企業関係の宴会は、昨年とほぼ横ばい状態であるが、今年と同窓会の予約が何件か入ってきているので、前年同期よりは多少上がるものと思われまます。
		タクシー会社	会社関係のタクシー依頼が増えてきている。また、全般的にタクシー利用客が増え、期待できる傾向にある。
		ドライブイン	<b>埼玉県内の圏央道が11月に全線開通するため、埼玉西部や神奈川との交通アクセスが格段に良くなる。そのため、新たなお客様の利用を期待している。</b>
		ゴルフ場	昨年との比較で年末年始の顧客動向に動きを感じる。購消費単価もやや上がってきているため、年末はやや良くなると判断している。
		製造業（窯業・土石製品）	10月開始の年間契約が決まる見込み。
	企業	製造業（金属製品）	弊社の特殊性かもしれませんが、本年度下期から輸送関連で増産が決定したものもあり、忙しくなると思います。
		建設業	今の仕事量が順調にこなせれば、景気は良くなっていくと思います。
		不動産業	<b>メール、電話による問合せが増加し、物件の内覧、見学も増えている。</b>
変わらない	家計	商店街代表者	良くなる要素が見当たらない。
		スーパー	食料品は、特に現在の動向（変わらない）であると思う。
		専門スーパー	猛暑効果を除けば、客数・買い上げ点数に変化がない。端境期のため、具体的に今より良くなる特別な要素がない。
		和食レストラン	3か月後は忘年会シーズンのため、一定客の見込みはあるものの、例年のことなので、特段景気が良くなる要素は感じられない。
		旅行代理店	お客様の財布の紐は緩むことはないと思います。生活苦がもろに出てきています。ぜいたくは一切なしです。
		タクシー運転手	利用するお客様が増えてこない。また、法人客の利用度も増えてこない。
		ゴルフ場	予約状況より判断いたしました。
	企業	レジャー施設	今後3か月での見通しでは、道の駅しもつが9月11日リニューアルオープンの予定があるが、国道294号から離れた当施設への影響は少ないと考えています。下妻市においても、県と共催で「いばらきを食べよう取極祭」が開催され、客数が増えることが見込まれるが、地方においても家計の収入上昇は耳にせず、客単価上昇は難しいものと思われる。
		農業関係者	正直見当がつかない。
		農業関係者	米、野菜の価格が著しく高騰しない限り、良くならない。
雇用	企業	製造業（一般機械器具）	取引先の様子や周りの様子から判断。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注動向の把握は相変わらず難しい状況であり、当面現状の対応を継続する見込みである。
		金融業	お客様とのヒアリングから、今後の受注状況を尋ねたところ、大部分の経営者は受注状況の好転の兆しはなく、現状維持のままで推移するだろうとの回答が多かった。
		公共職業安定所	<b>求人は今後も増えていくとも思われるが、正社員求人の不足、一方で医療、福祉、建設分野での人手不足等、求人・求職のミスマッチが続くと思われる。特に、介護職での人手不足による業績への影響が懸念される。</b>
やや悪くなっている	家計	学校就職関係者	豪雨被災により一部の家庭で進路の再検討等が発生しているが、就職状況は概ね変動なく安定している見込みである。
		求人開拓員	最近の様子を見ても、特に何かが変わった、変わる感じが見受けられない。
		和食食堂	<b>最近になって、再来年の消費税増税の話題がマスコミに取り上げられることが多くなっている。また消費者の節税意識に拍車がかかるのでは、と心配しています。</b>
		飲食業	食材などの値上げが、多少なりとも消費に影響してくると思います。
		理・美容店	以前にも増して、来店サイクルが伸びている（45日に来ていたところ、60日くらいになっている）。1か月ごとの売上げが極端に違う。
	企業	建築設計事務所	農業関係の好景気は、天候や相場による一過性のものだろう。
		住宅販売会社	今後、増税前の駆け込みが始まるまでは、一時的にせよ、景気は悪くなっていくと思われる。
		製造業（食料品）	常総市で水害があった関係で、社員の自宅も被害に遭い、その復旧にかなりの人手が割かれ、マンパワーの低下の影響を受けると思われる。
		製造業（印刷・関連業）	地方では景気低迷、先行不安が消費を抑える行動となって表れているように感じる。何か打撃を、と水を向けても、中心となるべき年代の人達にあきらめと言うしかないような傾向、何をやってもダメというような停滞が伺える。プレミアム商品券に対する事業者の反応にも表れており、大型店、スーパーに流れるだけとの懸念が現実化している。
		製造業（化学工業）	最終製品である自動車、パソコン、スマホ等の需要増の動きが見られない。季節要因から減少傾向。
製造業（窯業・土石製品）	我々の業種は、消費財を製造している企業と根本的に違うので、すぐに変わることは期待出来ませんが、売上げだけでなく、コスト重視の経営で利益を出していきたい。私たちの石材加工工業は、ムダの固まりの仕事ですので、そこにメスを入れない。		

やや悪い	雇用	人材派遣業	中国からの経済的影響があると思う。
		求人広告	お客様から商売の話聞くことが多いが、前年度の売上げから2~3割落ちているなど落ち込みが極端で、その回復する兆しが見えていない。そうすると、先々の投資は控える傾向があるため、景気は悪化している。
悪くなっている	家計	商店街代表者	大災害の影響。
		日本料理店	中国の経済問題は、いずれ日本にも波及し、周囲の人達の話聞いても、暗い話をする人が多いように思われます。
		ゲームセンター	<b>先日の大雨で被害を受けた、常総市からのお客様の来店減少による影響があると思われる。</b>
		クリーニング店	今のままだと年末に向けて、お金をたくさん消費するとは思えない。ボーナスなどが上がるのは、ほんの一部だろう。



### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	仕入れメーカーの情報によると、今年の茨城の建築のボリュームは過去に比べると少ないと予想するところが多い。量より質を求めるとなると、今後一層支出に対する厳しい姿勢をとる必要があると思われる。
	スーパー	嗜好品や新商品の販売が下降気味に感じられる。半年後が心配である（景気下降）。
	スーパー	お客様の買い物の仕方が上手になった。ホームセンター、ドラッグストア、スーパーなど品物によって買い分けている。
	衣料品販売店	人通りが少ない。
	農産物直売所	新米の売行きが今一つ。昨年より値上げしたせいかもしれない。
	小売業（弁当・惣菜店）	求人に対して以前より反応が悪くなったのは、他の産業などでの景気上昇なのではないかと推測しています。それに伴い、人件費の上昇がどう影響するかは、わずかですが悩ましい問題です。
	小売業（酒類）	飲食店経営者の高齢化により、閉店する得意先が出てきた。
	小売業（時計）	プレミアム券の効果が今のところありません。
	レストラン	このようなアンケートをとって、景気の回復が良くなるのでしょうか。あまり意味あるものでない気がします。
	居酒屋	人通りがない。
	スナック	外食する人が増えているように思います。
	中国料理店	まだまだ忙しいところと暇なところがはっきりしている。会社全体の景気が良くならないと、なかなか飲食業まで景気が良くならない。
	観光型ホテル	国や県の地方への創生金がすべてプレミアム商品券という形になり、目先の消費だけ伸びているような気がする。もっと持続的な方策はないのだろうか。
	タクシー運転手	100円均一ショップに行く機会が結構あり、便利に使わせてもらっている。その商品の生産国は、ほとんどが中国製である。しかし、ここに来て中国国内の人件費が大きく高騰しているという。そのためか、100円均一ショップなのに、200円や300円と値札のついた商品がずいぶん多くなってきた。安サラリーの身としては、「100円均一ショップ」が「200円均一ショップ」になるんじゃないかと危惧し、行く末が気になる今日この頃である。
	ゴルフ場	物価が上がったため、買い控えが目立つ。土日プレーの若い客層が減った。
	ゴルフ場	市町村の地方創生戦略が動き出している。プレミアム商品券販売による一般消費の立ち上がりに期待したい。
クリーニング店	日立の大型家電量販店が閉店した。	
企業	林業関係者	バイオマス関連が活発に動いている。
	水産業関係者	直近の話ではないが、消費控えこそ生活安定、といった保守傾向が現実「正しい」となってしまうように感じる。
	製造業（電気機械器具）	上期対下期でみると、下期の現在は作業量増。ただし、全体的にみると昨年比ではマイナス。
	製造業（電気機械器具）	ガソリン価格が下落しています。行業シーズンを迎えるので、良いタイミングだと思います。
	製造業（電気機械器具）	ニュースで中国の景気減速が多く報道されており、雰囲気的に景気が悪くなるのではないかという感じになってきている。
	製造業（電気機械器具）	鉄道関係の仕事振りが忙しいようだ。また、東京オリンピックに向け建設業にも期待したい。
	製造業（精密機器）	材料の値段が下がっているように思う。
	製造業（精密機器）	仕事量が減っているのが、帰休にしている企業もある。全体的に見ても景気は後退していると思う。12月までは見通しはない感じです。
	金融業	就労人口の減少に伴い、高齢者の割合が高くなっており、老人介護関係の業者の進出は顕著。また、比較的古い団地においては、不向きから土地・建物を手放す高齢者が多く、空き家となっている物件が散在する。
雇用	公共職業安定所	管内大手製造企業を退職した求職者より、事業縮小の動きを個人的に察知し、退職したとの話があり、具体的な人数は不明であるが、同様に自ら退職を申し出た者は多数いるとのことだった。また、以前に事業縮小に伴う希望退職者の応募をばたらきかけた企業で、前回同様に来年3月まで実施する報告があった。のべ退職者数は現在確認中である。
	求人開拓員	来年度の新卒者（高卒・大卒）を採用する事業所が増えているのは現実であるが、景気回復のため事前準備をしているとは考えられない。高齢者の退職者補充のため、女性の製造作業技術員を募集するが、応募者は少ない。

## (2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見	
家計	商店街代表者	長引いた円安の影響で、弊社の取扱品の約3割が、夏から微増ではあるが値上げになった。約2年半前の消費税UP以前と比較すると、同じ商品が実質2割ほどの値上がりをした商品もある。	
	商店街代表者	大変厳しい状態が続いているが、水戸市で発売された水戸市スーパープレミアム商品券で実印と銀行印を購入するお客様があり、傾向として高額商品を購入され、「買ってこれ」「値引きして」と交渉する人がいません。プレミアム商品券の経済効果のおかげです。高い技術、納期の短縮、高品質等の努力を適正価格で提供をし続けると、お客様の口コミで来店客を増やしているの、個人消費の落ち込みは防げるが、企業、会社関係の受注を回復させるのは厳しいのが現状。	
	百貨店、総合スーパー	高額品購入のお客様が消費に消極的になっている訳ではなく、気に入った商品は購入に動く。しかし、大部分の方は消費に慎重で、まとめ買いや衝動買いといった姿はほとんど見られない。	
	スーパー	為替の影響で食品値上げが多い。地域イベントなどが活況で、地元で楽しむことなどが増えてきている。	
	スーパー	高い物を買う人、安い物（値引き品）だけを買う人など格差が広がっている。特に年配の方の格差が大きい。	
	スーパー	節約するところは節約するが、使うところでは使っている方が多く見受けられる。	
	スーパー	洪水、噴火、株価低迷、オリンピック関連など、すべてにおいて暗い話題が多すぎる。	
	自動車販売店	企業の働き手の確保が難しくなっているのと、仕事量の減少で各企業の自動車保有台数が減ってきており、今年になりさらにその傾向が強い。	
	農産物直売所	周遊券を使われるお客様が思っていたより多く、6月、7月、8月と月毎に増加している。	
	楽器販売	近隣で古い建物を解体し、駐車場にしたり分譲したりしている。不景気の折にはそのような投資は行われていなかったことから、少しずつ景気の上向き感はあるのだろう。ですが、我々のところにその波がくるのは、まだ先のような感じ。ともすると、こないかもとも思えるくらい高揚感がない。	
	レストラン	大きな変化はない。	
	割烹料理店	打ち立てたアベノミクスたるものがさっぱり分かりません。	
	都市型ホテル	自然災害等により、農作物の被害が報じられているので、値段の高騰により景気回復がどうなるか不安です。	
	観光型ホテル	ネット経由の予約でいろいろなプランの比較が簡単になったせいか、単価の安いプランや特典付きプランがよく売れている。	
	旅行代理店	常総市の支援活動に役立つ事業が出来ればと思います。	
	旅行会社	2017年から消費税が10%になるのが決まっているが、給料は上がらず、生活していけるか心配です。	
	タクシー運転手	相変わらず、午後の8時以降はほとんどタクシーの利用者がおられません。どうしたのか、巷では、シルバーウィークで5連休だとか、6連休又は7～9連休などで浮かれています、タクシー業界ではそうはいきません。毎日が憂鬱な思いで仕事をしています。	
	タクシー運転手	天候不順の影響で物価が高くなっている昨今、景気も低迷している感じがする。	
	タクシー会社	常連のお客様の利用が一時減少しましたが、最近になって利用頻度が向上している。法人関係の利用が増加傾向にある。	
	観光名所	消費動向は依然厳しいものの、高額な嗜好品が全く売れないという訳ではなく、欲しい商品があれば購入するという状況がある。プレミアム商品というのが流行しているのも納得できる。付加価値がないと物が売れない時代になってきているのではないかと。	
	レジャー施設	原材料費（特に食料品関係）に関して価格上昇が目立っている。そのせいか、外食産業の閉店出店を含む店舗間競争が以前にも増して激化してきていると感じる。	
	ゴルフ場	お客様の問合せで、当倶楽部が歩きのプレーとわかると躊躇する申込者が見られる。	
	スーパー銭湯	近隣地区の空地や山林に個人住居、アパート等が昨年あたりから見られていたが、ここにきて急速に空地がなくなっている。また、旧6号国道沿いにあった空地、空店舗も新しい建物で埋まってきているのは、好況感を漂わせており気分的に良い。	
	住宅販売会社	他メーカーで業績好調な会社もあり、住宅メーカーでも良い悪いが分かれています。	
	企業	農業関係者	空間市のプレミアムチケットが販売され、チケットを利用した消費者が多く見受けられる。(7/1より販売)
		製造業（印刷・同関連業）	入札案件も少なくなっている感じがする。官公庁も絞り込んで必要な案件しか発注しなくなったのかもしれない。
製造業（一般機械器具）		ガソリンが安くなりました。職人が足りません。人が集まらない。	
製造業（精密機械器具）		4月スタートの当社としては、ここ数年の悪い受注・売上げ傾向が上期に出ています。これはリーマンショック以降のことですが、その要因はOEM先が振るわないことと、自社製品の大型製品の引き合い減少にありました。ただ、下期にはやや回復傾向が見られます。	
建設業		賃金格差が、消費動向に格差を感じる。	
運輸業（道路貨物運送業）		ガソリン、軽油価格が若干上がり始めているのが気にかかる。	
金融業		水戸市内中心部においては、大型店の撤退等により郊外化が続いているものの、郊外への顧客流出を防止すべく、商店街においても積極的にイベント開催等により集客向上に努め、地域活性化を図っている状況。	
情報通信業（情報サービス業）		市街地の活性化を図る試みは、頻繁にマスコミにも取り上げられているが、今話題となっているプレミアム商品券は、市街地の魅力と利便性をアピールできるチャンスと思っている。この機会を逃さずリーターの増加に繋がることを期待したい。	
サービス業（コンサル業）		被災地復旧の仕事が入るようになり、被災地での建設コンサル系の仕事は今後増え続けると思われる。	
雇用		求人広告	コンビニの新規オープンが増えた気がする。
	公共職業安定所	福祉、警備、建設業での人手不足感が毎月ごとに強くなってきている。	
	学校就業関係者	天候不順等の災害により、果物、農作物の価格が上がっている。これにより、各家庭の支出が引き締まり、景気に悪影響にならないか心配である。	
	求人開拓員	来館者（常陸大宮市在住）の話によると、来年度は常陸大宮市に丸真食品の新工場（舟納豆）と道の駅、常陸太田市にも道の駅ができます。地場産業の販路の拡大などにより、県北地域の活性化につながればと思います。	

## (3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	ガソリンが安くなっているので、客数が増えています。1回で買わないで、もう1回来店するお客様が増えているように思います。
	スーパー	お店の隣にホームセンターがオープンしたため、取り扱っているティッシュ・トイレットロール・洗剤・ペットフードなどの販売が30%下がった。やはり、お客様は価格に敏感であります。
	家電販売店	家電製品の購買は、単価が上がってきているのを見えます。久しぶりの地元サッカーチームの躍進で、年末の景気がさらに上がることも考えられる。
	農産物直売所	お彼岸があったが、お供えに飾る切花も、安いもの安いものという傾向が以前よりも強くなった。
	小売業（食品）	米の価格が低下しているとのこと、米農家の離農が目立つ。委託願いも断られる始末です。景気は良くならない。
	精肉店	再来年になると消費税が上がることを、消費者が懸念して、財布の紐を締めているように感じる。株が下がるのが景気にも影響していると思う。
	洋食食堂	先日、旧市街地を中心に伝統ある祭礼が行われたが、毎年少しずつ“お花”のあがり下がっている。少子高齢化の波や、シャッター街・更地となってしまった旧市街地の影響がジワジワと及んでいる。パート・アルバイトの人材確保が難しくなってきた。人件費は上昇きみで、利益率も圧迫されてきた。
	割烹料理店	コンビニートの企業の下請けの業者は、仕事が忙しいと言っているが、飲食店としてはそのようなことがまだ感じられない。
	日本料理店	スーパーでの物の単価が上がり、買い控えがあるのではないかと思います。
	海鮮料理店	1人ずつの使う単価が安くなりました。
	タクシー運転手	過去にない天候不順（6月・7月の猛暑（連日の30℃以上）や夏後半の降雨の連続）で周辺生活は不便、不安状態である。また、一部では健康不安も発生している状況等も見られる。景気上昇が見られないという回答理由に併せ、今後の影響を懸念する。
	ドライブイン	農産物など生鮮品は順調に販売できている。
	理・美容店	1点豪華主義の消費方法が増えたかと思えます。個々の価値観に基づく「ここだけはお金をかける（車や食事、旅行など）」というお金の使い方。
	クリーニング店	田んぼの耕作面積が多い農家でやめる方が増えている。そうすると、作ってもらっている地主の方は、土地が荒れてしまうし田畑の有効利用に困る（米の値段が安すぎるため、維持費がかかる）。
	住宅販売会社	輸出関連企業は好調だと聞くが、その波及効果がまだまだ不足している。
企業	農業関係者	当地域は天候不順などの自然災害も少ないため、野菜の高騰が続いている状況です。
	製造業（食料品）	プレミアム商品券での買い物は、必要以上に多額のものを購入。これは飲食店にも同様だ。
	製造業（食料品）	消費者の節約志向による選別買い状況の中では、売価見直しを含めて販売数量増大を図る。
	製造業（電気機械器具）	特に変わったところはないが、やや閉塞感が感じられる。
	建設業	オリンピック景気を期待しておりましたが、なかなか期待に反して景気上昇にはつながっていない気がします。
	建設業	鹿行地域は比較的安価なため、中古住宅が売れているようです。
	運輸業（道路貨物運送業）	首都圏から来る運転手さんに聞いても、このところ仕事が薄く困っている、と言っている。仕事の奪い合いとなっている現状である。
	金融業	家電量販店の出店計画や複合商業施設の建設計画等が予定されていることから、将来的に消費は上向きになると感じられる。
	保険業	霞ヶ浦産の魚、佃煮の販売が減少している。
	不動産業	今まででテナント入居者の方から賃料の改定の依頼があったのは初めてです（入居8年くらい）。全体的にコストの削減のためとのこと。
雇用	内装工事業	朝から夜まで頑張って1万円を稼いだ翌日、買い物をしたらあつという間になくなってしまいました。お金の価値って無いに等しいですね。考えてみたら、1万円は約9,200円の価値しかないですね。
	サービス業	営業で高速道路を使用しているが、今年度は明らかにトラック等の業務車両の通行量が増加していると感じている。また、採用活動も活発で、新卒採用、中途採用とも若手の採用活動が堅調である。ここ数年、中途採用およびその育成に関するルートも確立されてきており、雇用形態の多様化を実感する。
	火力発電所	大型工事を実施していて活気はあるが、工事費の圧縮に苦しんでいる。
	民間職業紹介業	とにかく求職者が少ないので、何らかの手立てを検討している。最近、60歳以上の方はもちろん、就労資格のある外国人の紹介を視野に入れて取り組んでいる。
	公共職業安定所	すべての求人事業所の回答ではないが、生産・事業活動の状況を伺うと、「横ばいである」という回答の方が「上回っている」という回答より多かった。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	常総市の豪雨被害。サンマ不漁で卸値が2倍、価格下らず。米も大雨の影響で新米が少ない。価格も高い。野菜類も高騰が続く。
	農産物直売所	他県ナンバーの客も増えている。
	小売業（生花店）	常磐線牛久駅前のスーパーでは、お客様駐車場駐車台数を今までの約半分程度まで縮小した。駅前の集客から周辺部への購買客シフトが見られる。
	小売業（米穀）	お米の価格が値上がりしているにもかかわらず、ドラッグストアやディスカウントストアでは値下げ販売しているのが理解できません。利益をどこから出しているのやら…。また、お米の出来が良くないため、農家さんも苦労しているようです。
	和食食堂	かなり節約している感じがします。
	和食食堂	たまたま近郊で浸水被害があったが、消費は控えるようになると思われる
	洋食食堂	ゆめみの駅周辺では、メーカーによるアパートが次々建てられている。地主さんは相続税対策なのだろうが、不動産屋さんの話から、土地より建物が高価なので、もしもの時売ったとしてもローンは残ってしまうだろうと言っていました。
	寿司店	最近では、市場に朝仕入れに行っても魚の数が少なく、客数も以前よりはるかに少なくなっている。
	都市型ホテル	ピアガーデンの営業については、競合他社も増加している中で、天候による動きももちろんあったが、昨年と同様の予約状況であった。8月後半は天候に左右され、減少していた。
	タクシー運転手	土浦（真鍋地区）にある結婚式場が年内で撤退する。土浦市役所本庁が、今月連休明けに土浦駅前の旧イトヨーカドーに移転し開所となる。近隣の飲食店の売上げ向上が見込まれそう。
	タクシー運転手	9月10日の鬼怒川決壊に伴い、常総地区は壊滅的打撃を受け、景気の回復は当面望めそうもない。従って、今後は同一回答しか出せない。
	ゴルフ場	コンペ予約等の新規獲得、追加が難しくなった。単価交渉もシビアになりつつある。
	ゴルフ場	天候については除外することになっているが、猛暑、大雨、河川の氾濫があり、オリンピックポスターや競技場のいずれもやり直し等がある。せっかく向上してきた景気を負にする要因が大きすぎる。
	ボウリング場	収入増への期待感が持てない以上、消費意欲は増やさないでしょうから、景気動向は一進一退と思います。
理・美容店	やはり、二極化していると思います。良い人は常に髪を切っていますが、悪い方は期間が伸び、そのうち来なくなりませう。この先、さらに二極化が進んでいくのではないのでしょうか。	
住宅販売会社	消費税増税に対して、お客様の意識が向かい始めた。	
企業	農業関係者	米価は前年度より1俵1,000円ほど値上がりしたのですが、品質の低下により、昨年同様の価格(2~3等)になりました。よって、景気が上がる要素がありません。この地域は、まだ米価に左右される地域です。もっと米価を上げる戦略を持つことが大事です。
	製造業（食料品）	あまり動きは変わりません。
	製造業（金属製品）	7月頃までは新規見積り等数点ありましたが、8月以降ないので良くなる動きが見えません。
	製造業（家具・装備品）	近所の店舗（プラモデル販売）が移転しました。町はまた寂しくなります。
	製造業（窯業・土石製品）	中国経済の失速が懸念され、政治も安保法案だけに力を入れていて、消費者の方を向いていない。国立競技場、エンブレム問題などネガティブな話題ばかりで、これから先の明るい話題が感じられない。消費マインドはほぼだまになっていと感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	株価の下落等、先行きは不透明である。
	製造業（非鉄金属）	雇用状況の改善により、人材の流出、採用の増加等人の出入りが多くなっている。
	建設業	24歳で独立し、今年で48年になる。元土浦市長のもとで2年間修業し、大変勉強になった。事業の仕組みは時代と共に変化するも、会社の流れは途絶えることなく現在に至ってきた。人が努力して知恵と知識を蓄えてきたことは、誠に有意義。更に努力を重ね、大きく飛躍することが景気の後押しをするだろうということに期待が膨らむと感じる。常に敬意を忘れず、また、共に奉仕の時代と位置付ける。勉強と努力を続けていく。
	建設業	鬼怒川の水害被害で職人の家が被災したり、復旧作業に駆り出されたりして、職人が集まらず工事着工を延ばしている会社があった。東日本大震災の時と同じように、県南地区でも今年いっぱい職人不足が続くのではないだろうか。
	金融業	土木工事・建設業者等一部の業界については、多少動きが出てきている。しかしながら、経済効果等にすぐ結びつくようなプロジェクトもほとんどない状況にあるため、引き続き現状のまま推移していくとの見通し。土浦市役所が平成27年9月24日から駅前ビル（元イトヨーカドー土浦店）に移転するが、特段の経済効果波及には及ばないと思われる。
	不動産業	土地を買って設計して工務店に頼む、というパターンから、土地と建物のセットでいくら、というような購入者がほとんどで、そういう提案ができるような売り方をしていかないと生き残れない時代となってきました。
雇用	人材派遣業	派遣法改定の動向いかんによっては今後変わってくるのでは？
	公共職業安定所	中国経済減速の影響で、生産量を減らしているという声を耳にするようになっていく。企業整備など雇用への影響は今のところない。
	学校就職関係者	東京でテレビ取材を受けている人に茨城県の人が多く、TXの影響で買物は東京へ出てしまっていると感じる。逆に東京の人を呼び込むために、ただ都会的な環境整備を考えるのではなく、茨城らしく、他と比較できない独自路線を展開できないかと思う。ナチュラル＝上質でオシャレな高級イメージを打ち出せる特産品など、もっと観光に力を入れられないか。県民が自慢できる環境をつくれれば消費も地価も上がってくると思うので、オリンピック開催もあるし、海外からの旅行者が茨城に寄ってみたいと思えるような動きがあれば良いなと思います（東京では地価が上がってきているということなので）。また、スキーリゾートなどの海外投資家の流入が話題になっていました。日本の伝統工芸の世界に外国人が流入している現状も踏まえ、低迷する日本市場だけでなく、海外市場を視野に入れた取り組みが必要と感じる。
	求人開拓員	とにかくハローワークの求人が増えている。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大災害で、車・建築・業関係は良い。
	商店街代表者	「消費税10%になる前に」という大型消費の広告が目立ってきた（家や自動車etc...）。当店のよう小さな食料品店は、10%になった時買い控えがおきるのだろうか。とても心配。
	スーパー	8月のお客様の買い物の仕方が、お盆などの催事日には良い。高品質な商品をお求めになる方が増えているようにも感じました。
	農産物直売所	商品の値段が少々高くても、必要な物にはお金を出して購入していると感じています。
	専門スーパー	プレミアム商品券が発売されたので、今後の景気の下支えになると期待したい。
	和食食堂	今回の豪雨で稲刈り前の田の冠水が多く、米の値段や景気に悪影響が出ないか心配です。
	日本料理店	地方の都市部の中心はシャッター通りが多く、行政がなんらかの措置を講じないと、民間の力ではどうにもならないように思われます。
	飲食業	各市町村や商工会が販売したプレミアム商品券は、消費意欲を促し商業活況に一翼担っていただきたいと思います。
	都市型ホテル	プレミアム商品券の使用期間が、当市では平成28年1月末であるが、商品券を活用することで、その期間中はお金が回り、良くなったように感じるかもしれないが、それは一時の事で、その後どう響いてくるか不安です。私個人としてですが、プレミアム商品券を活用している方を見ると、若いママさん世代の方や高齢の方の利用が少なく思います。特に利用してほしい方の使用が少なく、何となく残念です。
	旅行会社	所得が増えた人が多い。
	旅行代理店	燃料を入りにガソリンスタンドに行ったら、満タンとおっしゃる方が少ない。2,000円分とか3,000円分とかで、セルフでも同じである。また、独身者が増えているようで、少量のバック詰めが目立っている。無駄な物は買わない。必要なものだけ購入している。また、ディスカウント店や量販店もお客が減っている。
	ゴルフ場	圏央道の拡大大工の影響もあり、北関東エリアとしては上向き傾向だと思う。ただし、千葉方面に関してはすでに圏央道効果も落ち着き、やや下向きになっているような印象がある。つくば市に関しては戸建を含む開発が目立ってきている。
	ゲームセンター	先日の大雨で被害を受けた常総市から来店されていたお客様も多く、しばらくは大きな影響を受けそうです。（数か月ではなく、もしかすると数年単位になるのかも）
レジャー施設	圏央道常総ICが着々と完成に近づいてきているが、これは下巻市にとって車の流れが変化すると考えられる。おそらくマイナス要因となる恐れが強く、企業誘致や観光施設の整備、地元でのお金の還流対策が急務ではないかと思われる。東京品川ラインの電車も開通したが、都内からお客様を誘致するよりも、逆に都内への流失を促していないだろうか？	
建築設計事務所	業界問わず総じて不景気を感じている中で、ごく一部が投資先を探している。	
企業	製造業（食料品）	水害の影響がどれくらいの期間、人員に関係するのか、今のところ全く予想がつかない。
	製造業（印刷・同関連業）	消費税再引き上げに対する不安が目立つようになってきた。8%から10%と2%増えるだけが、気分的に1割、10%負担は大変との感じがあるように思う。10%、1割という計算しやすく分かりやすい割合からかもしれない。この不安、気持ちが消費減少に大きく作用していると思う。会社(法人)は減税なのに、という人も出てきた。
	製造業（窯業・土石製品）	為替レート変動分（80～120円/\$）を十分に売値に転嫁できず厳しい。受注物件の減少。
	製造業（窯業・土石製品）	最近道路を車で走っていると、軽自動車が多いように見受けられます。ひとりで通勤するのだから、軽自動車でも十分でしょう。また、マツダやスバルの車が数多く目に付きます。今の世の中の価値観が多様化していることを物語っています。トップ企業でもやり方次第で脱落するし、反対に小さな会社でも業績を大いに伸ばすことができる社会は健全です。
	建設業	大都市のみ忙しい。東京オリンピックまでは大手建設会社は忙しい。
	建設業	特に大型ダンプの交通量が多い。貨物の交通量が全体的に多い。
	金融業	ガソリン価格の下落から、運輸業は恩恵を受けており、燃料費削減による利益率改善が見られる。しかしながら、ガソリンスタンドでは売上げが30%程度減少しており、資金繰りに苦慮している。一部の建設業者や建築資材業者では、東京オリンピック特需の影響（オリンピックや震災復興による現場作業員不足による建設単価の上昇）を今後受けるだろうと予想している。
雇用	求人広告	求人動向を確認するため、ハローワークを訪れることがある。最近、ハローワークの駐車場が午前中で満車になる。これは、今年になってから初めてのケースで、今後の景気が不安だ。
	学校就職関係者	近隣では住宅建設が増加しており、担当者によると「東京オリンピックまでの期間は、施設建設等で年々資材高騰が見込まれる」とのこと。これは住宅についての例だが、今後様々な部分で、良くも悪くもオリンピック開催の影響を耳にする機会が増えるのではないかと感じる。